回線遮断システム

TeleGuard

取扱説明書

Ver1.10

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

～ 目次 ～

第一章　概要 4
1.1　システム設備全体像 4
1.2　各部名称と役割 4
1.3　搭載機能 5
1.4　システム構成図 7
1.5　ソフトウェア構成図（インストール構成） 7
1.6　制御ソフトフローチャート（遮断決定フロー） 8
第二章　機器の接続 9
2.1　遮断機の接続 9
第三章　インストール手順 10
3.1　インストールの準備 10
3.2　マスターPC のインストール手順 10
3.3　初期設定と動作確認 25
3.4　既存の制御 PC に遮断機を追加する 29
3.5　新しく制御 PC を追加する 29
3.6　監視モニターのみ追加する 31
3.7　ファイアウォールの設定 33
3.8　インストール後のエラーメッセージと回避方法 35
第四章　アンインストール手順 36
第五章　操作方法 42
5.1　TeleGuard の起動と終了 42
5.2　画面各部の説明と操作方法 44
5.2.1　ログイン画面 44
5.2.2　監視モニターメイン画面 45
5.2.3　初期設定画面 47
5.2.4　コンファーム画面 49
5.2.5　一覧表画面 50
5.2.6　ブザー確認画面 51
5.2.7　ｷｮｶ登録画面 52
5.2.8　ﾊｯｼﾝｷｮﾋ登録画面 54
5.2.9　電話帳登録画面 55
5.2.10　監視モニターユーザー登録画面 56
5.2.11　録音再生画面 57
5.2.12　モニター画面 58
5.3　アイコンの説明 59

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

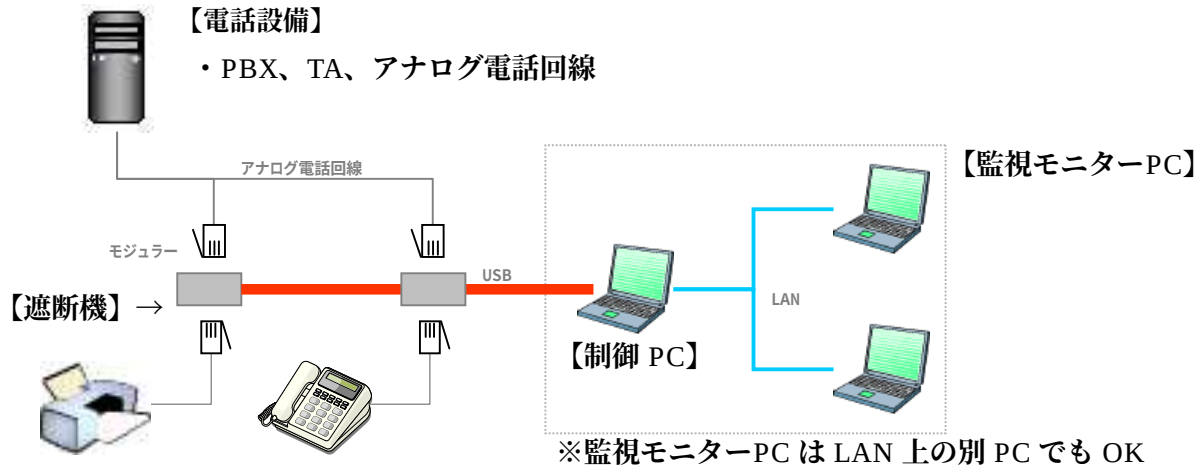
5.4 使用用途別設定例 60
5.4.1 FAX の誤発信防止 60
5.4.2 テレマーケティングでの発信回数制限 60
5.4.3 FAX 送付拒否や電話拒否のお客様へのトラブル防止 61
5.4.4 決まったダイヤル先にしか FAX や電話をかけたくない 61
5.4.5 電話は普通通りに使用し達成率の管理などダイヤル履歴を取りたい 61
5.4.6 ｱﾅﾛｸﾞ回線モニターとしての使い方 62
5.5 ｺﾝﾌｧｰﾑ時の操作について 63
5.5.1 ｺﾝﾌｧｰﾑ操作 63
5.6 録音・モニターの設定について 64
5.6.1 録音・モニター設定と操作 64
5.7 データのインポート・エクスポート操作について 65
5.7.1 インポート操作 65
5.7.2 エクスポート操作 66
5.8 遮断機エラーの回復方法 67
5.9 監視モニターユーザーの権限について 67
5.10 初期化ファイルの説明（TeleGuard.ini） 68
5.11 DN ファイルの説明（DN.tmp） 69
5.12 インポート用 CSV ファイルフォーマット 70
5.12.1 許可設定用 CSV フォーマット 70
5.12.2 拒否設定用 CSV フォーマット 70
5.12.3 電話帳設定用 CSV フォーマット 70
5.13 注意事項 71

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

第一章　概要

この度は TeleGuard をお選びいただき、誠にありがとうございました。本システムはアナログ電話回線に遮断機を割り込ませ、ダイヤル発信時の DTMF トーンを検出してダイヤルの許可、拒否を判定し、誤発信を防止する装置です。

1.1　システム設備全体像



1.2　各部名称と役割

①電話設備

電話回線を提供する装置です。PBX のアナログトランクや TA のアナログポート、NTT 社からの直接アナログ回線などを接続することが可能です。

②遮断機

アナログ電話回線に割り込ませ､実際に回線を遮断する装置です｡PC とは USB 接続となっており、電源を必要としません。1 制御 PC あたり 2 台までの遮断機接続を推奨します。電話設備やアナログ電話端末とは、一般的なモジュラー回線で接続します。ダイヤルパルスを検出することはできません。

③アナログ電話端末

一般家庭用電話機、単独電話機、G3FAX（家庭用 FAX、複合機含む）など、アナログ電話回線に接続して使用する電話端末です。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

④制御 PC

遮断機を制御するソフトウェア（制御ソフト）をインストールした PC を表します。遮断機からのダイヤル信号を受信し、ダイヤル許可、拒否の判定を行い、遮断機に対し回線遮断の信号を送信します。マスターPC（UNIT№１）と呼ばれる制御 PC には、データベースを搭載します。

⑤監視モニターPC

遮断機の接続状態や、遮断機で得られる情報を画面上に表示するほか、ダイヤル許可拒否の指定、ダイヤル許可リスト、拒否リストのメンテナンスや、電話帳のメンテナンス（インポート、エクスポートなど）を行うことができます。インポート、エクスポートはデータベースを搭載しているマスター制御 PC 上でのみ可能です。ログイン権限によっては、参照のみ可能となります。

1.3 搭載機能

№	機　能　名	説　　明
1	ダイヤル許可機能	アナログ端末より電話をかけた際、発信先がダイヤル許可登録されている場合に限り、ダイヤルを許可します。同一番号がダイヤル拒否登録されている場合は、ダイヤル拒否が優先されます。
2	ダイヤル拒否機能	アナログ端末より電話をかけた際、発信先がダイヤル拒否登録されている場合に限り、ダイヤルを拒否し、遮断機によって電話回線が切断されます。
3	コンファーム機能	ダイヤル許可、拒否のどちらにも登録されていない場合の動作モードで、初期化ファイルに定義されます。コンファーム機能が選択されている場合には、一旦電話回線を遮断し電話をストップします。この後、監視モニター画面に確認ブザー音とともにコンファーム画面がポップアップ表示され、指示を待ちます。許可登録する、拒否登録する、ワンタイム許可する、削除するかを選択することができます。
4	パススルー機能	ダイヤル許可、拒否のどちらにも登録されていない場合の動作モードで、初期化ファイルに定義されます。パススルー機能が選択されている場合には、電話回線を遮断せず通常通り電話をかけることができます。
5	ワンタイム許可機能	コンファームの後、ダイヤル先を一度だけ発信許可（発信都度認証）したい場合に指定する機能です。一旦ダイヤルが成功するとワンタイム許可は解除となり、次回同じダイヤル先に電話をした場合は、再度コンファームとなります。
6	発信回数規制機能	電話帳に記録されている発信回数を元に、規制回数以上のダイヤルを遮断することができる機能です。規制回数は初期化ファイルに定義されます。

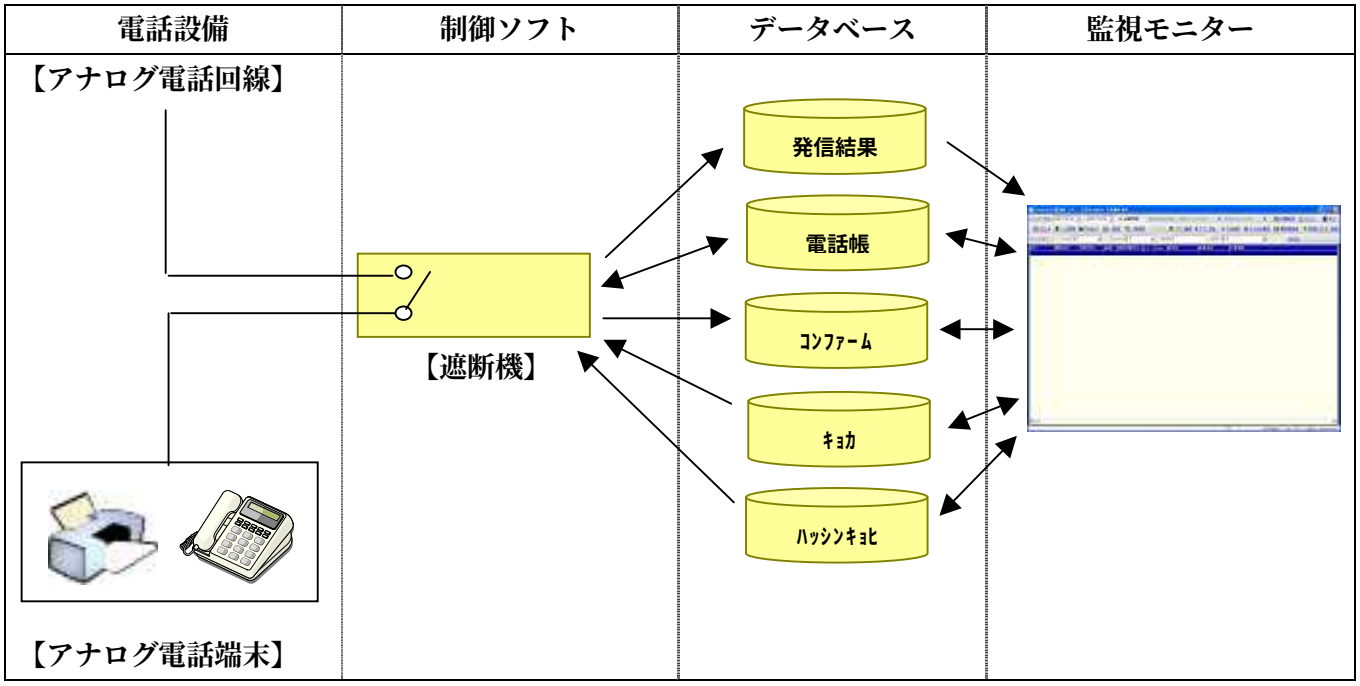
COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

№	機　能　名	説　　明
7	電話帳蓄積機能	遮断機が検出したダイヤル先をすべてデータベースに保存します。保存された電話帳は CSV にエクスポートして、別なシステムで活用することが可能です。
8	リアクティベーション機能	パソコンベースでの実装においても、稼働時間を延ばすため、指定時間に自己再起動を行う機能です。リアクティベーション中の数秒間はダイヤル検出を行うことができません。初期値は午前 3 時に指定されています。
9	遮断機監視機能	遮断機が制御 PC から切断（USB ケーブル断）されたことを検出すると、監視モニターより警告ブザーが鳴ります。
10	通信結果記録機能	ダイヤル結果をすべて記録し画面表示します。CSV エクスポートや一覧表印刷も行うことができます。
11	データインポート･エクスポート機能	電話帳、許可登録、拒否登録は CSV からのインポート、CSV へのエクスポートを行うことができます。
12	回線録音機能	遮断機上に流れる音声を録音します。 複数の遮断機を 1 PC に接続した場合は、指定された 1 回線のみ録音することができます。
13	回線モニター機能	遮断機上に流れる音声をモニターします。 複数の遮断機を 1 PC に接続した場合は、指定された 1 回線のみ録音することができます。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

1.4　システム構成図

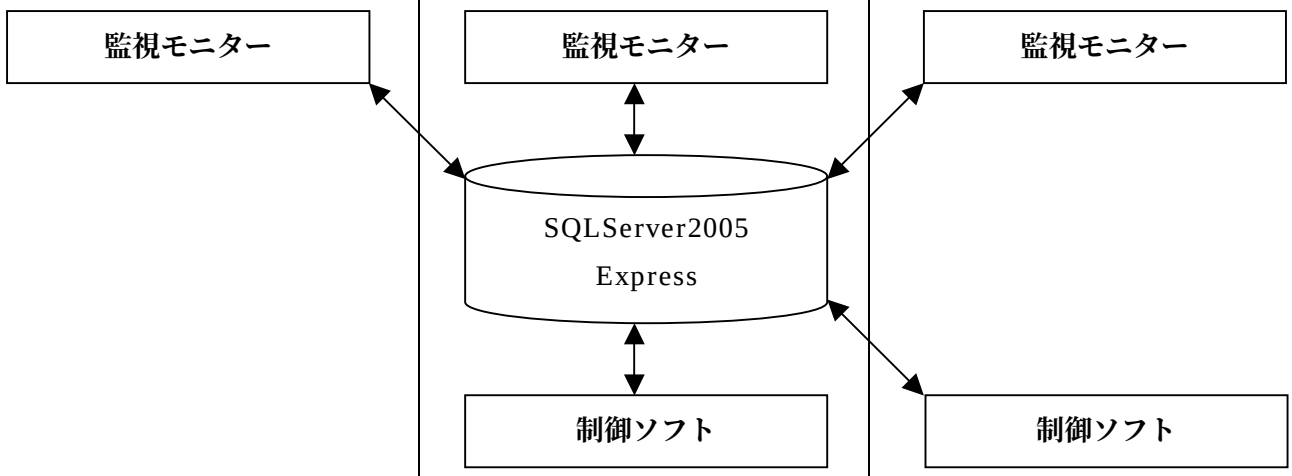
TeleGuard は以下のようなシステム構成で動作します。



1.5　ソフトウェア構成図（インストール構成）

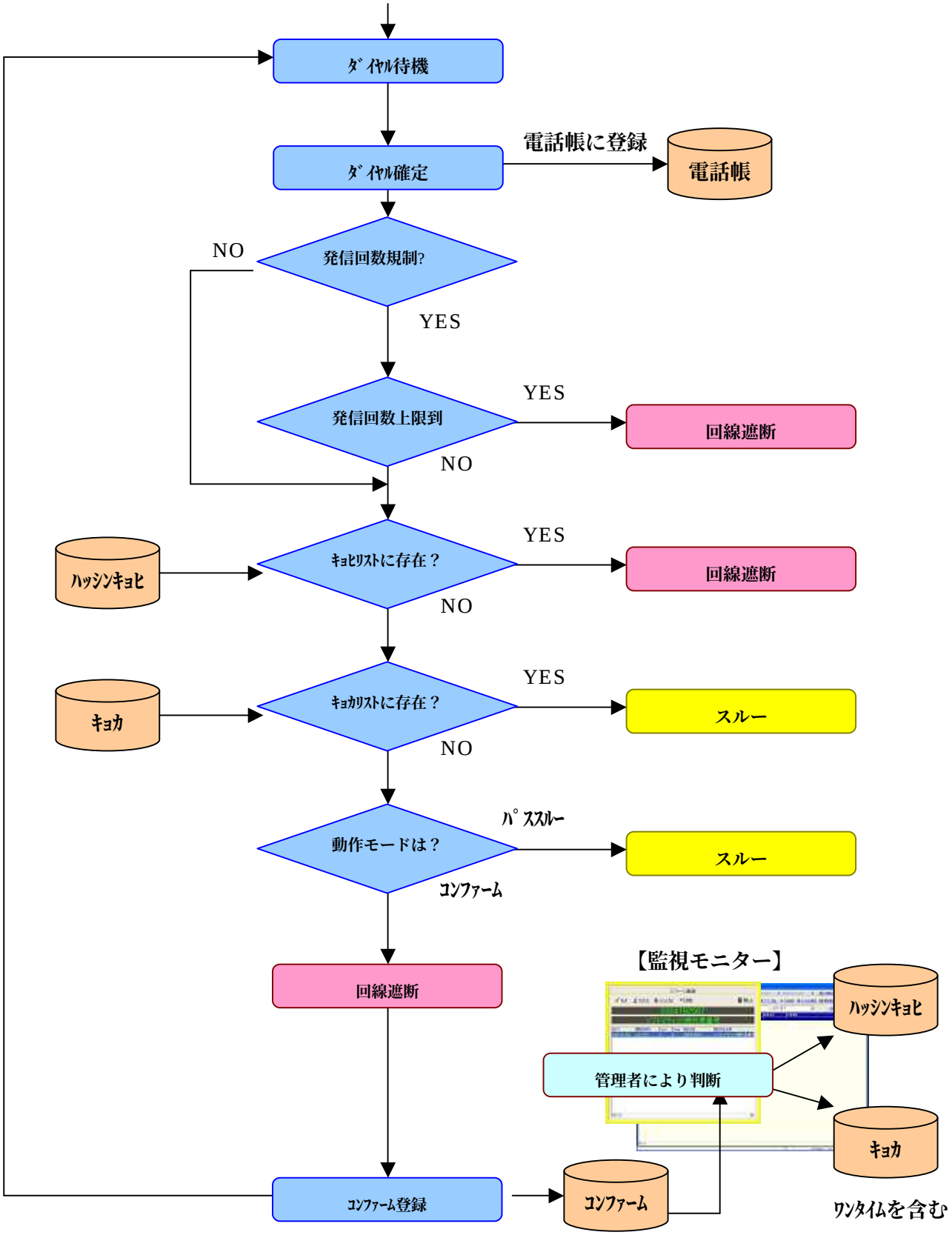
TeleGuard は以下のようなソフトウェア構成で動作します。

監視モニターのみ	マスターPC（フルインストール）	制御 PC 追加（監視モニター含む）
UNIT#は 1 以外であれば特に意識する必要はありません。	最初に必ずフルインストールします。UNIT#1 となる PC です。	UNIT#を 2 以上に設定します。



COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

1.6 制御ソフトフローチャート（遮断決定フロー）

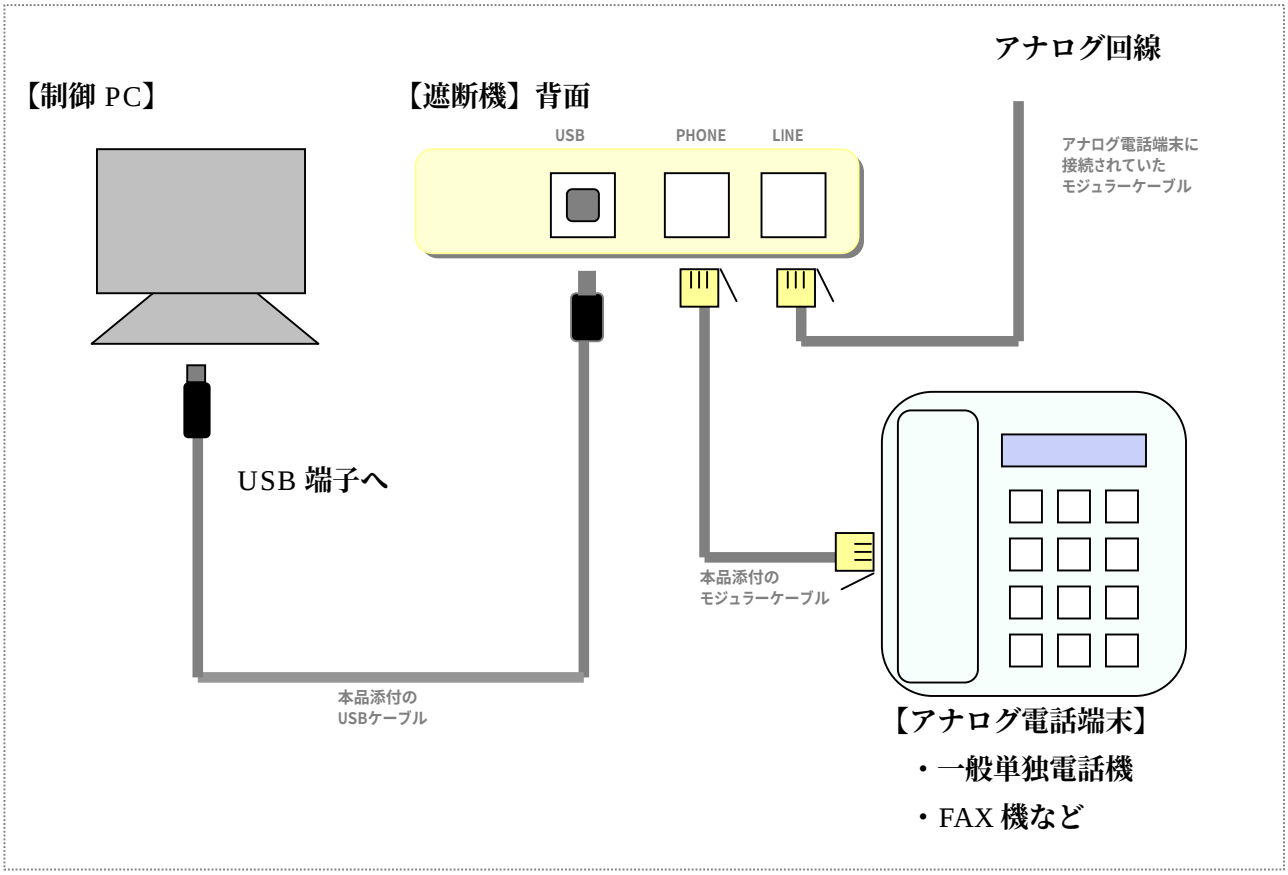


COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

第二章　機器の接続

2.1　遮断機の接続

遮断機を以下の図のとおり接続します。

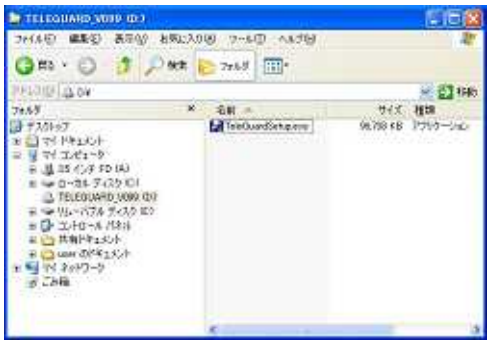


第三章　インストール手順

3.1　インストールの準備

機器の接続ができましたら、お手元にインストールＣＤをご用意いただきます。インストールするＯＳにより設定する情報がありますので、ご注意ください。また、「ＰＣの再起動」メッセージが表示される場合がありますが、「後で再起動する」を選択してください。**特にご注意いただきたい手順につきましては、網掛け表示しておりますので**、ご確認ください。

3.2　マスターPC のインストール手順



（１）
インストールするＰＣにＣＤをセットし、ＣＤから「TeleGuardSetup.exe」をダブルクリックし起動します。

※ファイルをコピーするため次の画面が表示されるまで数分間かかります。

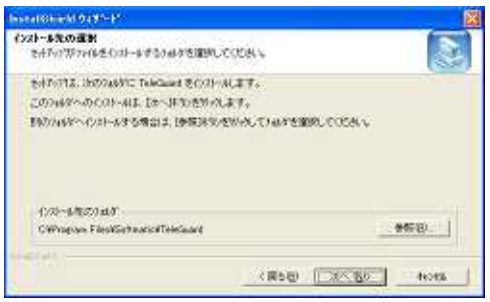
（２）
インストールウィザード画面が表示されますので、［次へ］ボタンを押下します。

（３）
［ユーザー名］、および［会社名］を入力し、［次へ］を押下します。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

（4）

インストールタイプの選択画面が表示されますので、マスターPC（フルインストール）を選択し、［次へ］を押下します。



（5）

インストール先指定画面が表示されますので［次へ］を押下しますとファイルの展開が始まります。

※この処理は数分間かかります。

（6）

.NET Framework のセットアップ画面が表示されますので［次へ］を押下します。

（7）

使用許諾画面が表示されますので、[同意する］にチェックをつけて、［インストール］ボタンを押下します。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

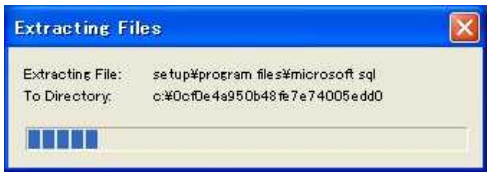
（8）

.NET Framework のファイル展開が開始されます。

※この処理は数分間かかります。

（9）

.NET Framework のインストールが完了しましたので、［完了］を押下します。



（１０）

SQLServer 2005 Express のセットアップファイルのコピーが始まります。

※この処理は数分間かかります。

（１１）

使用許諾書が表示されますので、［使用許諾書に同意する］にチェックをつけ、［次へ］を押下します。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

（１２）
コンポーネントインストール確認画面が表示されますので、［インストール］を押下します。

（１３）
コンポーネントインストール完了画面が表示されますので［次へ］を押下します。

（１４）
SQLServer 2005 Express のインストールウィザード画面が表示されますので［次へ］を押下します。

（１５）
システムの構成チェックが開始され、結果が表示されます。
エラー表示がない場合は、［次へ］を押下します。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

※左記の表示が出る場合があります。SQLServer 2005 の最小要件が満たされない場合などに表示されます。
主に CPU、メモリ、ハードディスク容量が不足している場合が考えられますが、警告であれば特に意識せず先に進めてください。

（１６）
［名前］および［会社名］を記入し、［次へ］ボタンを押下します。

（１７）
インストールするプログラムを指定します。
マスターとなる制御 PC（最初にインストールする PC）は、特に指定する必要がありませんので、［次へ］を押下します。

※制御 PC を追加する場合、監視モニターのみインストールする場合は操作を伴います。詳しくは後述する手順を参照ください。

（１８）
認証モードを指定します。
［混合モード］を選択し、［パスワードの入力］に「123456」と入力し、［パスワードの確認入力］に同様に「123456」と入力し、［次へ］を押下します。

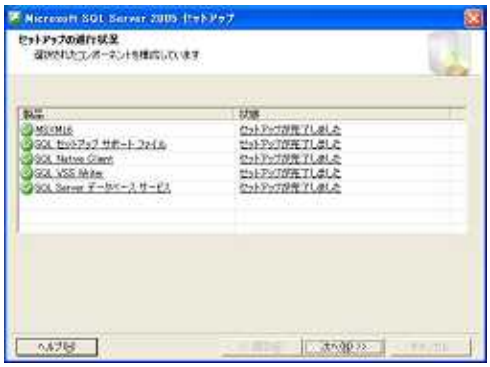
※例では 123456 をパスワードとしましたが、任意のパスワードを指定することが可能です。本ドキュメントでは 123456 を基準に記述されていますので、変更した場合は以降の記述を変更したパスワードに読み替えてください。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

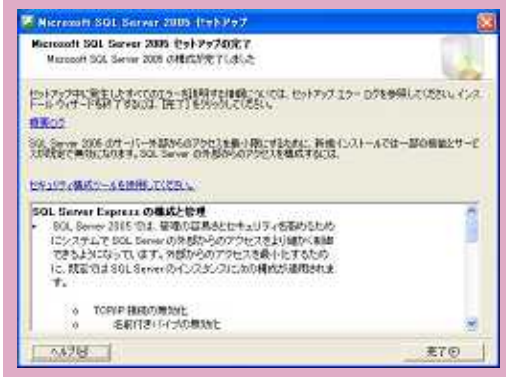
（１９）
エラーレポートの指定画面が表示されますので、［次へ］を押下します。

（２０）
インストール準備が完了しましたので、［インストール］を押下しますと、ファイルの展開が開始されます。

※この処理には数分かかります。



（２１）
ファイルの展開が完了しましたら、［次へ］を押下します。



（２２）
セットアップ完了画面が表示されます。
［セキュリティー構成ツールを使用してください。］をクリックし、セキュリティー構成ツールを起動してください。

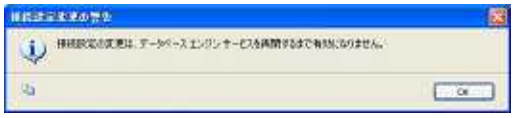
※この画面を表示したまま（３０）まで設定を行いますので、先に進めないようご注意ください。先に進めてしまった場合正しくインストールされませんので、一旦アンインストールしてから、再度インストールを行ってください。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

（２３）
セキュリティー構成ツールが表示されますので、［サービスと接続のセキュリティー設定］をクリックします。

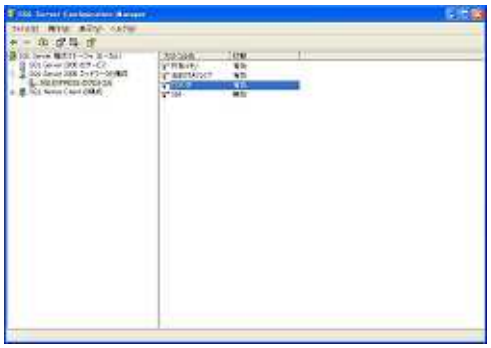
【HINT】
この操作によりネットワークよりデータベースをアクセスできるよう構成します。
［Microsoft SQL Server 2005］－［構成ツール］－［SQL Server セキュリティー構成］からも起動できます。

（２４）
ツリー表示にて［SQLEXPRESS］－［DataBaseEngine］－［リモート接続］を選択すると、右半分の表示が左記のような画面となりますので、［ローカル接続およびリモート接続］を選択し、あわせて、［TCP/IP および名前つきパイプを使用する］を選択し、［OK］を押下します。



（２５）
左記の表示が出ますので、［OK］を押下します。

（２６）
次に［スタート］メニューより、［Microsoft SQL Server 2005］－［構成ツール］－［SQL Server 構成マネージャ］を選択します。



（２７）
［SQL Server 2005 ネットワークの構成］－［SQLEXPRESS のプロトコル］を選択すると、左記の画面となりますので、画面右側の［TCP/IP］をダブルクリックします。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

（２８）

［IP1］、［IP2］、［IPALL］とも、左記の図の通り［TCP ポート］に「１４３３」、［TCP 動的ポート］を削除、［有効］を「はい」と設定して［OK］を押下して下さい。

（２９）

左記の画面が表示されますので、［OK］を押下します。

（３０）

手順（２２）で表示されたセットアップ完了画面の［完了］を押下しますと、データベース作成用スクリプト（黒い画面）が表示されます。

※この処理は数十秒で終了します。

（３１）

遮断機用のドライバインストールウィザードが開始されますので、［完了］を押下します。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

（３２）
一度インストールを行った PC にてアンインストール後再インストールを行うと、左記の画面が表示されますが、問題ではございませんので、［全てはい］を押下します。

※既に遮断機用ドライバが入っている場合は、左記のメッセージが表示される場合があります。この場合、インストールを中止（キャンセル）し、念のため一旦アンインストールしてから再度インストールしなおしてください。

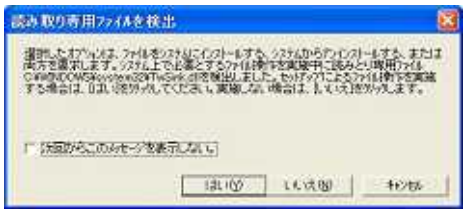
（３３）
遮断機用ドライバのウィザード開始画面が表示されますので、［次へ］を押下します。

（３４）
［ユーザー名］、［会社名］を記入し、［次へ］を押下します。

（３５）
インストール先の確認画面が表示されますので、［次へ］を押下します。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

（３６）
プログラムフォルダ名の指定画面が表示されますので、［次へ］を押下しますと、システムファイルの展開が始まります。



※インストール中、左記のような画面が表示されることがありますが、［次回よりこのメッセージを表示しない］にチェックをつけて、［はい］を押下してください。

（３７）
インストール完了画面が表示されますので、［完了］を押下します。

（３８）
再起動指示画面が表示されますが、**［いいえ、後でコンピューターを再起動します。］を選択し、**［完了］を押下します。

※再起動を選択しないよう十分ご注意ください。再起動してしまった場合、正しくインストールされませんので、一旦アンインストールしてから、再度インストールを行ってください。

（３９）
初期化ファイル起動画面が表示されますので、［完了］を押下します。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

（４０）
初期化ファイルが表示されますので、初回はこのまま画面を終了してください。

※手順（１８）にてデータベースのパスワードを「123456」以外とした場合は、初期化ファイル中の［DATABASE］セクション、［PWD］レコードを変更し、上書き保存してください。

（４１）
DN ファイル起動画面が表示されますので、［完了］を押下します。

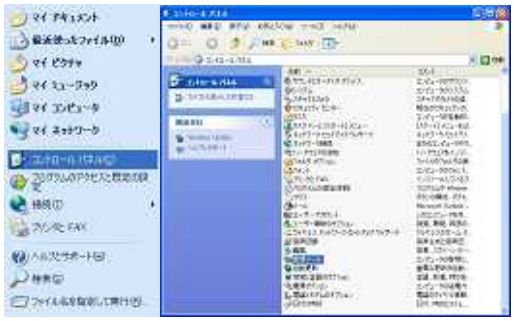
※DN ファイル＝ダイヤル桁数やダイヤル先を識別する為に必要な基礎情報が保存されています。

（４２）
DN ファイルが表示されますので、初回はこのまま画面を終了してください。

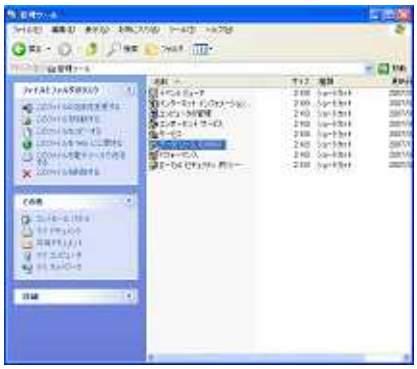
（４３）
終了画面が表示されますので、［完了］を押下し、インストールを終了します。

以上でシステムファイルのコピーは終了です。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.



（４４）
［スタート］－［コントロールパネル］を選択し、［管理ツール］をダブルクリックします。



（４５）
［データソース（ＯＤＢＣ）］をダブルクリックします。

（４６）
ＯＤＢＣアドミニストレータ画面が表示されますので、［システムＤＳＮ］タブを選択し、［追加］を押下します。

（４７）
［SQL Native Client］を選択し、［完了］を押下します。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

（４８）
［名前］に「TELEGUARD」、［サーバー］に「localhost」を指定して、［次へ］を押下します。

（４９）
［ユーザーが入力する SLQServer 用ログイン ID とパスワードを使う］を選択し、［ログイン ID］に「sa」、［パスワード］に「123456」を指定し、［次へ］を押下します。

※手順（１８）にてデータベースのパスワードを「123456」以外とした場合は、指定したパスワードを指定してください。

※左記の画面が表示される場合は、データベースが正しく設定されていません。
（２３）～（２９）のみもう一度やり直し、C:¥Program Files¥Softmatic¥TeleGuard¥MSDEEXPR¥SQLEXPRMANUAL.BAT をダブルクリックして実行し、（４４）へ手順を戻してください。

（５０）
［規定のデータベース］欄で「TELEGUARD」を選択し、［次へ］を押下します。

【HINT】
［規定のデータベース］欄に「TELEGUARD」が表示されない場合は、セットアップが正しく実施されていない可能性があります。（２３）～（２９）のみもう一度やり直し、C:¥Program Files¥Softmatic¥TeleGuard¥MSDEEXPR¥SQLEXPRMANUAL.BAT をダブルクリックして実行し、（４４）へ手順を戻してください。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

（５１）
左記の画面が表示されますので、そのまま［完了］を押下します。

（５２）
［データソースのテスト］を押下し、接続試験を実行します。

（５３）
「テストは無事に完了しました」が表示されたら［OK］を押下します。

（５４）
左記の画面に戻りますので［OK］を押下します。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

（５５）

ODBC アドミニストレータ画面に戻り、「TELEGUARD」が登録されていることを確認して［OK］を押下します。

（５６）

以上で基本システムのインストールとセットアップが終了しました。

お疲れ様でした。

※再起動せずに、次ページからの初期設定を行ってください。

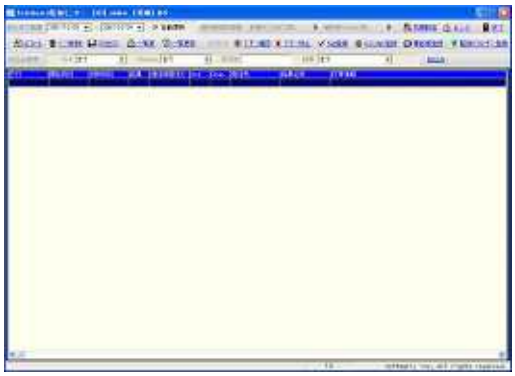
COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

3.3 初期設定と動作確認

（1）
デスクトップに作成された［監視モニター］ショートカットをダブルクリックします。

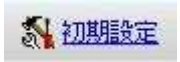
【HINT】
［スタート］－［すべてのプログラム］－［TeleGuard］－［監視モニター］からも起動できます。

（2）
監視モニターのログイン画面が表示されますので、［ユーザー名］に「admin」、［パスワード］に「admin」を指定し、［ログイン］を押下します。



（3）
監視モニターのメイン画面が表示されます。

（4）
監視モニターの右上部にある［初期設定］を押下します。



COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

（5）

初期設定画面が表示されますので、次ページの説明にしたがって指定してください。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

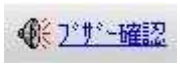
項目名	設定内容
UNIT#	遮断機が接続された PC に UNIT 番号を付与します。最初にインストールした PC は UNIT#1 としてください。
動作モード	遮断機が発信先（ダイヤル先）を検出した際、検出したダイヤルがｷｮｶ登録、ﾊｯｼﾝｷｮﾋ登録のどちらにも登録されていない場合にどのように動作させるかを指定します。 【ｺﾝﾌｧｰﾑ】回線を一旦遮断し、確認操作を待ちます。 【ﾊﾟｽｽﾙｰ】ダイヤル先をスルーして、通常どおり電話がかかります。
ログ有効期限	システムのログ保存日数を指定します。
外線捕捉	外線に電話をかける際、あるいは特殊な回線（専用線など）を選択する際に、ダイヤルするかどうかを指定します。例えば 03－5419－2567 に電話をかける場合、0+0354192567　とダイヤルする場合は、「あり」を指定します。
外線捕捉ダイヤル	外線捕捉する場合の先頭ダイヤル種類を指定します。複数指定可能です。
発信回数規制	電話帳に登録された発信回数が、本設定の規定を上回った場合は回線を遮断します。「0」を指定する場合は、発信回数規制がかかりません。
画面表示件数	監視モニター画面で表示する情報の最大件数を指定します。表示速度の効率化のためです。
自己再起動時刻	稼働時間延長の為、深夜の時間帯に自己再起動する時間を指定します。
ブザー再生先	ブザー音をどこに再生するかの指定です。一般的には PC のサウンドデバイスを指定してください。（遮断機デバイス名以外を推奨）
USB 切断ブザー再生回数	遮断機（USB アダプタ）が抜けた場合にブザー音（1 秒低音）が鳴ります。このブザー音を断続的に何回再生するかを指定します。一般的には「無限」を指定してください。
コンファームブザー再生回数	確認が必要となった場合、ｺﾝﾌｧｰﾑ画面がポップアップし、あわせてブザー音（1 秒高音）が鳴ります。このブザー音を断続的に何回再生するかを指定します。監視モニターが手元にある場合などは、3 回程度でも OK です。
遮断機デバイス名	使用する OS により遮断機の認識文字列が異なります。この認識文字列は遮断機抜けチェックを行うものですので正しく設定してください。 WindowsXP：USB Phone www.usbphone.com Windows2000:USB オーディオ デバイス
市外局番	設置場所の市外局番を指定します。03、042 などがそれにあたります。
市内ダイヤル桁数	設置場所の市内ダイヤル桁数を指定します。東京都内において、03-5419-2567 に電話をかける際、54192567 とダイヤルすれば、電話がかかりますので、8 桁となります。

（6）

指定が終わりましたら、［更新］を押下しますと左記の画面が表示されますので、［OK］を押下します。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

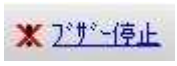
（７）
更新処理が完了しましたら、左記の画面が表示されますので、［OK］を押下します。



（８）
次に、ブザー音量をチェックします。監視モニターの［メンテナンス］欄に［ﾌﾞｻﾞｰ確認］ボタンがありますので、押下します。

（９）
ブザー選択画面が表示されますので、ブザー種別を選び、［ﾌﾞｻﾞｰ鳴動］ボタンを押下することでブザー音が連続的に鳴ります。必要に応じてスピーカーボリュームを調整してください。

※ブザー音が鳴りますので、ボリュームにご注意ください。音がならない場合は、手順（５）ブザー再生先の指定を再確認するか、PC のスピーカーボリューム設定を確認してください。（別途スピーカーが必要な場合があります。）



（１０）
ボリューム調整が済みましたら、。監視モニターの［メンテナンス］欄に［ﾌﾞｻﾞｰ停止］ボタンがありますので、押下してブザー停止します。

（１１）
以上で TeleGuard システムの初期設定が終了しました。
インストール直後の場合は、PC の再起動をお願いいたします。

お疲れ様でした。

※設定変更した場合は、［スタート］－［すべてのプログラム］－［TeleGuard］－［制御ソフト再起動］を選択し、制御ソフトを再起動してください。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

3.4　既存の制御 PC に遮断機を追加する

以下に、遮断機のみ追加する手順を示します。

①追加する PC をシャットダウンします。
②USB ポートに遮断機を追加します。
③PC を起動します。
④監視モニターの上部、遮断機数が期待の通り表示されていれば終了です。

3.5　新しく制御 PC を追加する

マスターPC インストール（フルインストール）手順を元に注意点のみ抜粋します。

（1）～（3）を同様に進めてください。

（4）
インストールタイプの選択画面が表示されますので、[制御 PC 追加インストール］を選択し、［次へ］を押下します。

（5）～（13）を同様に進めてください。

（14）
SQLServer 2005 Express のインストールウィザード画面が表示されますが、**［キャンセル］を押下します。**

（15）～（30）
は表示されず、スキップします。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

（３１）～（４７）を同様に進めてください。

（４８）
［名前］に「TELEGUARD」、［サーバー］に**マスターPC（UNIT#1）の IP アドレス**を指定して、［次へ］を押下します。

（４９）を同様に進めてください。

※左記の画面が表示される場合は、以下の可能性が考えられます。

①マスターPC のファイアウォール設定にてデータベース接続用ポートが遮断されている。
　この場合、後述する「3.7 ファイアウォールの設定」を参照して正しく設定し、手順（４８）からもう一度設定を行ってください。
②マスターPC の IP アドレスが違う。
　マスターPC の IP アドレスをもう一度ご確認ください。

（５０）～（５７）を同様に進めてください。

3.3 初期設定と動作確認を進めていただき、手順（５）にて、UNIT#に適切な値を設定してください。例えば制御 PC が既に存在し、追加する場合は「２」と設定します。

以上で制御 PC 追加インストールは完了です。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

3.6　監視モニターのみ追加する

マスターPC インストール（フルインストール）手順を元に注意点のみ抜粋します。

（１）～（３）を同様に進めてください。

（４）

インストールタイプの選択画面が表示されますので、[監視モニターのみインストール］を選択し、[次へ］を押下します。

（５）～（１３）を同様に進めてください。

（１４）

SQLServer 2005 Express のインストールウィザード画面が表示されますが、**［キャンセル］を押下します。**

（１５）～（３８）

は表示されず、スキップします。

（３９）～（４７）を同様に進めてください。

（４８）

［名前］に「TELEGUARD」、［サーバー］に**マスターPC（UNIT#1）の IP アドレス**を指定して、［次へ］を押下します。

（４９）を同様に進めてください。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

※左記の画面が表示される場合は、以下の可能性が考えられます。

①マスターPC のファイアウォール設定にてデータベース接続用ポートが遮断されている。
　この場合、後述する「3.7 ファイアウォールの設定」を参照して正しく設定し、手順（４８）からもう一度設定を行ってください。
②マスターPC の IP アドレスが違う。
　マスターPC の IP アドレスをもう一度ご確認ください。

（５０）～（５６）を同様に進めてください。

（５７）
PC の再起動が終了し、エラーメッセージが出ないことを確信します。**制御ソフトのアイコンは表示されません。**

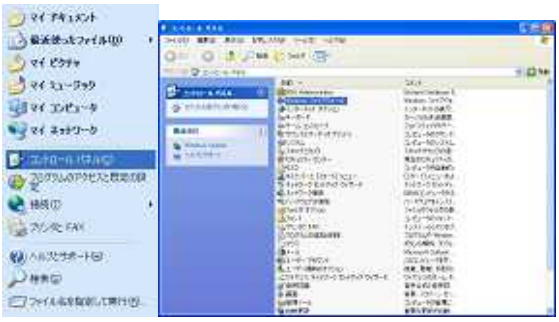
3.3 初期設定と動作確認を進めていただき、手順（５）にて、UNIT#に適切な値を設定してください。例えば制御 PC が既に存在し、追加する場合は「２」と設定します。

以上で監視モニターインストールは完了です。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

3.7　ファイアウォールの設定

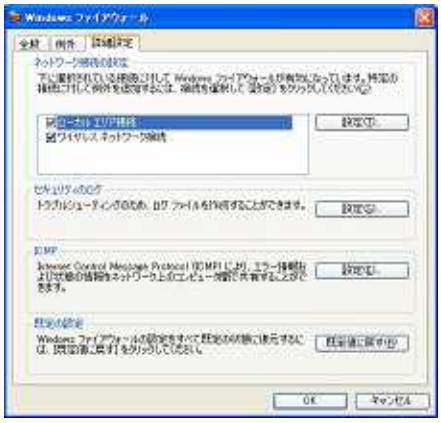
マスターPC に搭載されるデータベースにアクセスする際、アクセスポートがファイアウォールにより遮断される場合があります。下記要領に従い、ポートをガードしないよう設定してください。
下記例は、WindowsXP でのファイアウォール設定を示します。



（参考－１）

マスターPC（UNIT#1）が WindowsXP やウイルス対策ソフトなどファイアウォール設定がされている場合、マスターPC（UNIT#1）にて設定を行います。

［スタート］－［コントロールパネル］を選択し、［Windows ファイアウォール］をダブルクリックします。
※データベースアクセス用ポートをガードしないよう設定変更します。



（参考－２）

Windows ファイアウォール画面の［詳細設定］タブを選択し、［ローカルエリア接続］を選択後、［設定］を押下します。

（参考－３）

［サービス］タブを選択し、［追加］ボタンを押下します。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

（参考－４）

サービス設定画面にて、以下の設定を行い、［OK］**を押下します。。**

［**サービスの説明**］TELEGUARD

［IP **アドレス**］localhost（**もしくは自己** IP **アドレス**）

［**外部ポート番号**］1433

［**内部ポート番号**］1433

（参考－５）

サービス一覧画面に「TELEGUARD**」が表示されれば完了ですので［**OK**］ボタンを押下します。**

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

3.8 インストール後のエラーメッセージと回避方法

ＴｅｌｅＧｕａｒｄの制御ソフト起動時に、遮断機（ＵＳＢアダプタ）が認識できなかった場合に表示されます。
ＵＳＢケーブル接続を再度ご確認いただき、制御ＰＣを再起動してください。

以下の可能性が考えられます。

（A）ODBC 設定

手順（４４）～（５４）をもう一度ご確認ください。

（B）TeleGuard.ini の DB 設定

手順（１８）にてデータベースのパスワードを「123456」以外とした場合は、C:¥Program Files¥Softmatic¥TeleGuard¥TeleGuard.ini に記載される初期化ファイル中の［DATABASE］セクション、［PWD］レコードを変更し、上書き保存してください。

（C）インストールが正しく行われていない

手順（２３）～（２９）のみもう一度やり直し、C:¥Program Files¥Softmatic¥TeleGuard¥MSDEEXPR¥SQLEXPRMANUAL.BAT をダブルクリックして実行し、手順（４４）～（５４）をもう一度ご確認ください。

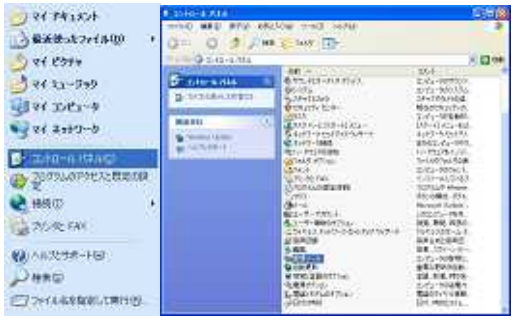
監視モニターでのエラー画面です。
上記同様の可能性が考えられますので再度ご確認ください。

左記の画面が表示された場合は、遮断機用ドライバが正しくセットアップされていません。
手順（３８）で再起動された可能性があります。
C:¥Program Files¥Softmatic¥TeleGuard¥Setup¥CtlRegistManual.bat をダブルクリックして再登録を行い、制御 PC を再起動してください。

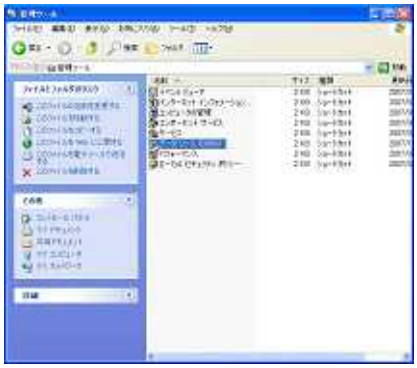
COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

第四章　アンインストール手順

TeleGuard のアンインストール手順を以下に示します。アンインストールでは正しい順序でアプリケーションの削除を行ってください。本説明書では、WindowsXP での画面例となります。



（1）
［スタート］－［コントロールパネル］を選択し、［管理ツール］をダブルクリックします。



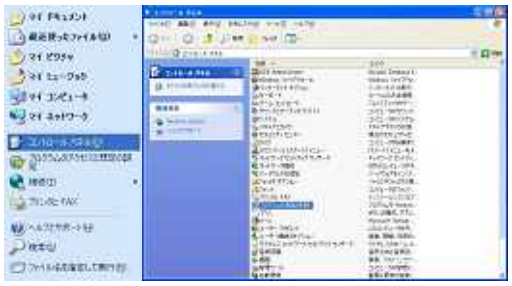
（2）
［データソース（ＯＤＢＣ）］をダブルクリックします。

（3）
ＯＤＢＣデータソースアドミニストレータ画面が表示されますので、［システムＤＳＮ］タブを選択し、［システムデータソース］の中の［ＴＥＬＥＧＵＡＲＤ］を選択、［削除］ボタンを押下します。

（4）
確認画面が表示されますので、［はい］を押下します。

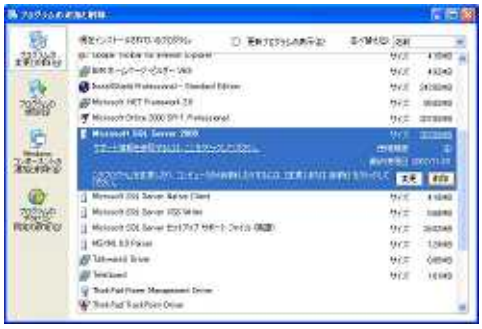
COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

（5）
ＯＤＢＣデータソースアドミニストレータ画面に戻り、［ＴＥＬＥＧＵＡＲＤ］が消えていることを確認します。

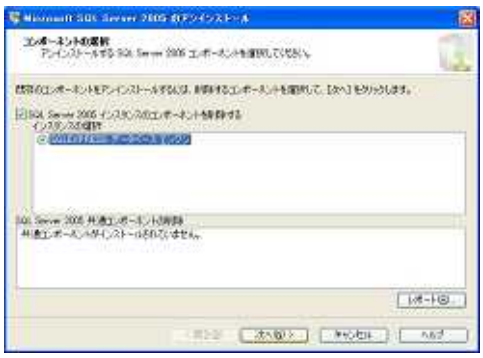


（6）
次に、［スタート］－［コントロールパネル］－［プログラムの追加と削除］をダブルクリックします。

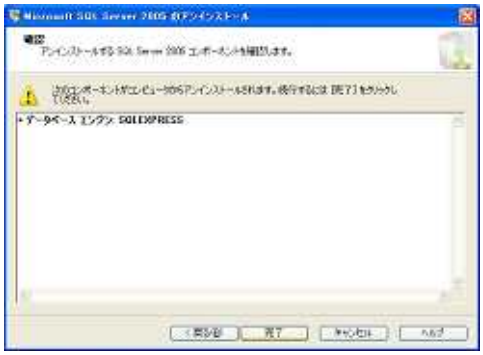
※Windows2000 では［アプリケーションの追加と削除］となります。



（7）
［Microsoft SQL Server 2005］を選択し、［削除］ボタンを押下します。



（8）
コンポーネントの選択画面が表示されますので、
［SQLExpress データベースエンジン］を選択し、［次へ］を押下します。

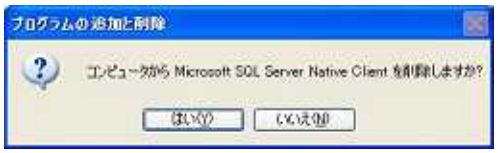


（9）
アンインストール確認画面が表示されますので、［完了］ボタンを押下しますと、アンインストール処理が開始されます。

※この処理は数分かかります。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

（１０）
SQLServerExpress の削除が完了すると、プログラムの追加と削除画面に戻ります。続いて［Microsoft SQL Server Native Client］を選択し、［削除］を押下します。



（１１）
削除確認画面が表示されますので、［はい］を押下しますと削除処理が開始されます。

※この処理は数分かかります。

（１２）
SQLServerNativeClient の削除が完了すると、プログラムの追加と削除画面に戻ります。続いて［Microsoft .Net Framework 2.0］を選択し、［削除］を押下します。

（１３）
［アンインストール］を選択し、［次へ］を押下します。

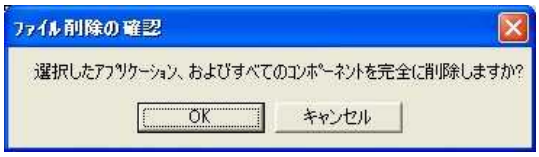
（１４）
削除確認画面が表示されますので、［はい］を押下すると、削除処理が開始されます。

※この処理は数分間かかります。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

（１５）
削除が完了すると、セットアップ完了画面が表示されますので［完了］を押下します。

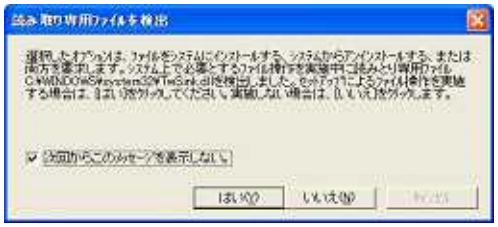
（１６）
プログラムの追加と削除画面に戻ります。続いて［TalkwareU Driver］を選択し、［削除］を押下します。



（１７）
削除確認画面が表示されますので、［OK］を押下しますと削除処理が開始されます。

※この処理は数分間かかります。

（１８）
削除の途中、共有ファイルの検出画面が表示されますが、［このメッセージは表示しない］にチェックをつけて、［はい］を押下します。



（１９）
削除の途中、読み取り専用ファイルの検出画面が表示されますが、［このメッセージは表示しない］にチェックをつけて、［はい］を押下します。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

（２０）
削除完了の画面が表示されますので、[完了]を押下します。

（２１）
再起動指示画面が表示されますが、[いいえ、あとでコンピュータを再起動します。]を選択し、[完了]ボタンを押下してください。

※再起動してしまった場合には、再起動後、手順（２２）から開始してください。

（２２）
プログラムの追加と削除画面に戻ります。続いて[Teleguard]を選択し、[削除]を押下します。

（２３）
左記の画面が表示されますので、[削除]を選択し、[次へ]を押下してください。

（２４）
削除確認画面が表示されますので、[OK]を押下しますと、削除処理が開始されます。

※この処理は数分かかります。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

（２５）
削除が完了すると、メンテナンス完了画面が表示されますので、［完了］を押下します。

（２６）
アンインストール完了画面が表示されますので、［完了］を押下します。

（２７）
以上で削除は完了です。PC を再起動してください。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

第五章　操作方法

5.1　TeleGuard の起動と終了

5.1.1　起動

システムの起動は次のように操作します。

（1）
PC を起動します。

（2）
PC の起動が終了し、エラーメッセージが出ないことを確認します。

画面右下のアイコントレーに左記アイコン（制御ソフトアイコン）が表示されていれば制御ソフトの起動完了です。

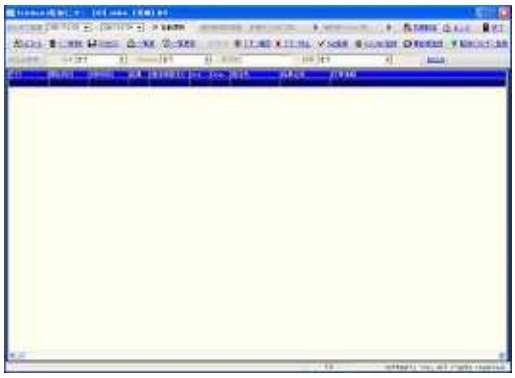
（3）
デスクトップに作成された［監視モニター］ショートカットをダブルクリックします。

【HINT】
［スタート］－［すべてのプログラム］－［TeleGuard］－［監視モニター］からも起動できます。

（4）
監視モニターのログイン画面が表示されますので、［ユーザー名］に「admin」、［パスワード］に「admin」を指定し、［ログイン］を押下します。

※「admin」は初期設定アカウントです。ユーザー設定している場合は、この限りではありません。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

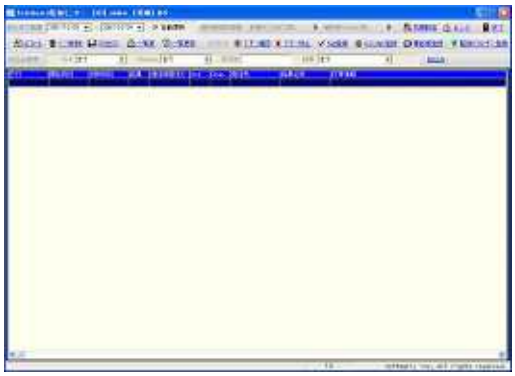


（5）
監視モニターのメイン画面が表示されれば起動終了です。

※ブザーは監視モニター起動時のみ有効です。常に表示しておくことをおすすめします。

5.1.2　終了

システムの終了は次のように操作します。



（1）
監視モニターを終了します。

（2）
PC をシャットダウンします。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

5.2　画面各部の説明と操作方法

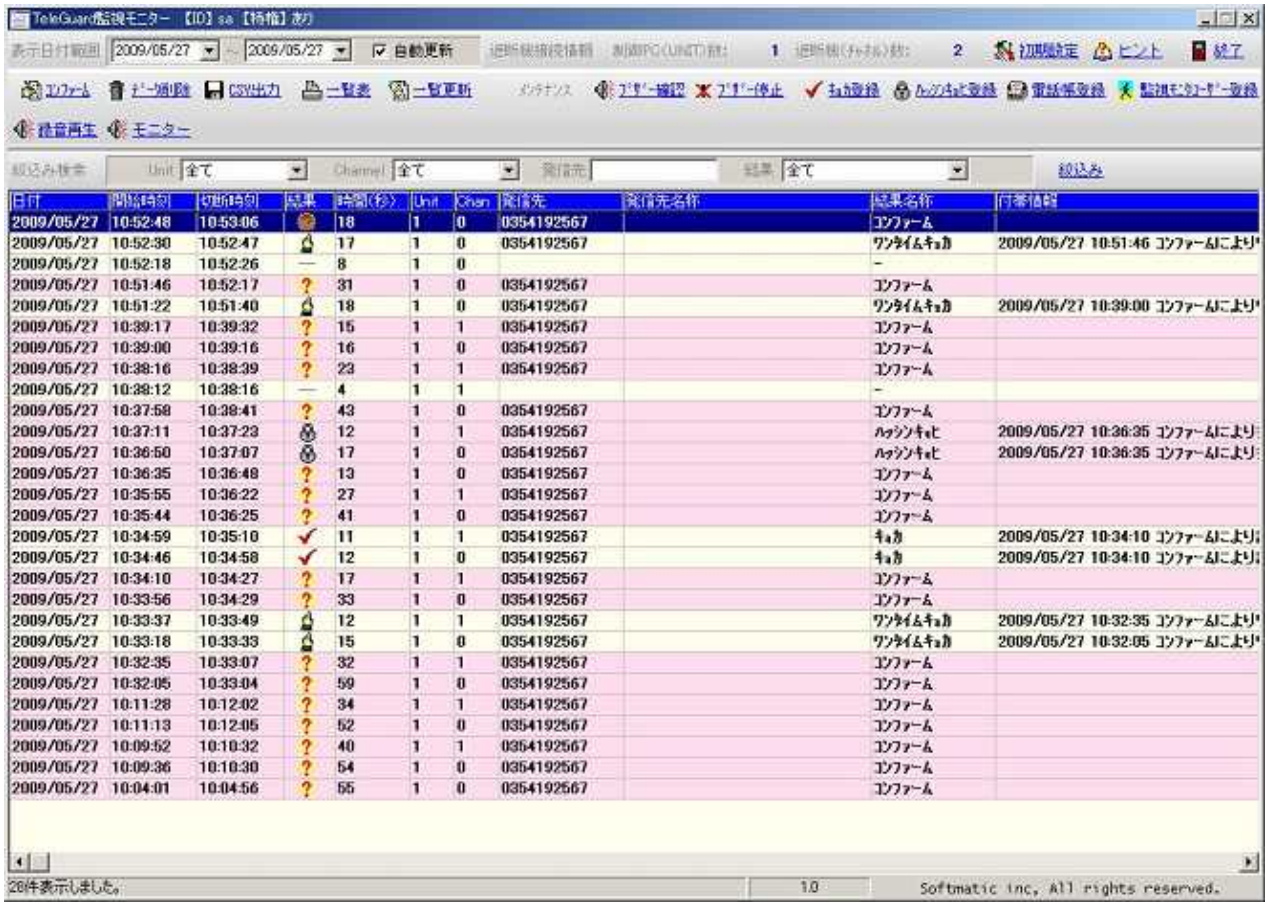
5.2.1　ログイン画面

№	項目名	説明
1	ユーザー名	監視モニターのユーザー名を指定します。
2	パスワード	指定したユーザーのパスワードを指定します。
3	ログインボタン	指定したユーザーでログインします。
4	キャンセル	監視モニターのログインをキャンセルし、終了します。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

5.2.2　監視モニターメイン画面

ﾛｸﾞｲﾝ後に表示される画面です。



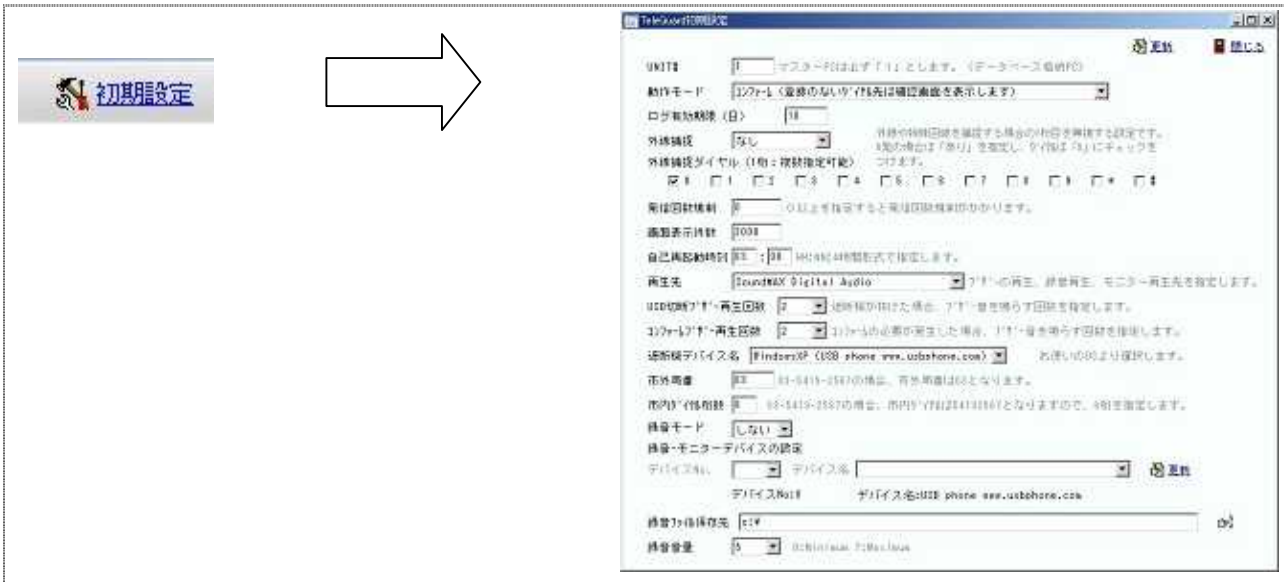
№	項目名	説明
1	表示日付範囲	メイン画面に表示する履歴表示の日付範囲を指定します。 長い期間指定しますと、画面表示に時間がかかりますのでご注意ください。
2	自動更新チェックボックス	このチェックボックスにチェックをつけると、10 秒間隔で画面が自動的に更新されます。日付をまたいだ場合は、表示日付範囲が自動的に更新され、当日のログが表示されます。
3	遮断機接続情報表示	接続されている「制御 PC」と「遮断機」の数を表示します。青文字の場合は正しく接続されている状態を表し、当初接続されていた遮断機数よりも少なくなってしまった（抜けなどにより）場合には赤文字で表示されます。
4	キャンセル	監視モニターのログインをキャンセルし、終了します。
5	初期設定ボタン	TeleGuard の初期設定を行う画面を表示します。
6	ヒントボタン	監視モニター使用上の簡単なヒントを表示します。
7	終了ボタン	監視モニターを終了します。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

8	コンファームボタン	コンファーム画面を表示します。通常コンファームが必要になると自動的にコンファーム画面が表示されますが、必要がある場合は、手動で画面表示することができます。
9	データ削除ボタン	監視モニターに表示されている履歴を削除します。
10	CSV 出力ボタン	監視モニターに表示されている履歴を CSV 出力します。出力先は、CSV 出力後に表示されます。
11	一覧表ボタン	監視モニターに表示されている履歴をエクセルの一覧表にします。表示された一覧表は、XLS のエクセルフォーマットにて保存されます。 このボタンは、エクセルがインストールされていない場合、非活性（押せない）状態となります。
12	一覧更新ボタン	監視モニター表示を表示日付範囲で更新します。
13	録音再生ボタン	録音されている場合は、このボタンを押下することで再生できます。
14	モニターボタン	回線のモニターを行うことができます。設定画面にて「録音ﾓｰﾄﾞ（する）」を指定し、適切なチャネルのモニターを指定してください。遮断機がインストールされていない PC ではモニターできません。
15	ブザー確認ボタン	ブザー再生するための画面を表示します。
16	ブザー停止ボタン	鳴っているブザーを停止することができます。
17	ｷｮｶ登録ボタン	許可登録を行う為の画面を表示します。
18	ﾊｯｼﾝｷｮﾋ登録ボタン	発信拒否登録を行う為の画面を表示します。
19	電話帳登録ボタン	電話帳登録画面を表示します。
20	監視ﾓﾆﾀﾕｰｻﾞｰ登録ボタン	監視モニターにログインする為のユーザーを登録する画面を表示します。
21	絞込検索（各項目）	監視モニターに表示されている履歴を絞り込む為の条件指定項目です。
22	絞込みボタン	絞込検索に指定された条件で監視モニターに表示されている履歴を絞り込みます。
23	一覧画面	履歴の一覧表を表示します。表示件数は、初期設定の［画面表示件数］により制限されます

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

5.2.3　初期設定画面



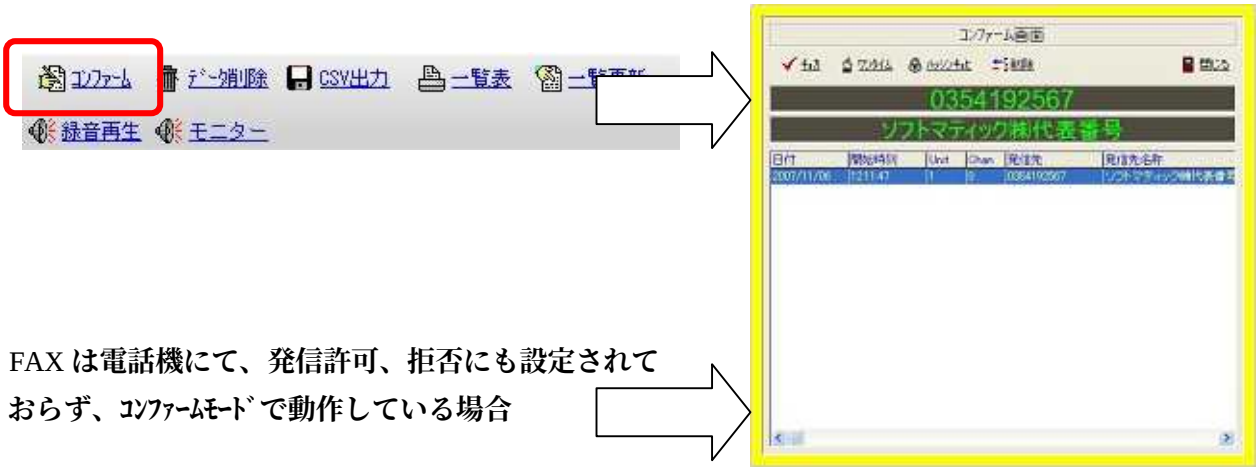
№	項目名	説明
1	UNIT#	遮断機が接続された PC に UNIT 番号を付与します。最初にインストールした PC は UNIT#1 としてください。
2	動作モード	遮断機が発信先（ダイヤル先）を検出した際、検出したダイヤルがｷｮｶ登録、ﾊｯｼﾝｷｮﾋ登録のどちらにも登録されていない場合にどのように動作させるかを指定します。 【ｺﾝﾌｧｰﾑ】回線を一旦遮断し、確認操作を待ちます。 【ﾊﾟｽｽﾙｰ】ダイヤル先をスルーして、通常どおり電話がかかります。
3	ログ有効期限	システムのログ保存日数を指定します。
4	外線捕捉	外線に電話をかける際、あるいは特殊な回線（専用線など）を選択する際に、ダイヤルするかどうかを指定します。例えば 03－5419－2567 に電話をかける場合、0　0354192567　とダイヤルする場合は、「あり」を指定します。
5	外線捕捉ダイヤル	外線捕捉する場合の先頭ダイヤル種類を指定します。複数指定可能です。
6	発信回数規制	電話帳に登録された発信回数が、本設定の規定を上回った場合は回線を遮断します。「0」を指定する場合は、発信回数規制がかかりません。
7	画面表示件数	監視モニター画面で表示する情報の最大件数を指定します。表示速度の効率化のためです。
8	自己再起動時刻	稼働時間延長の為、深夜の時間帯に自己再起動する時間を指定します。
9	ブザー再生先	ブザー音をどこに再生するかの指定です。一般的には PC のサウンドデバイスを指定してください。（遮断機デバイス名以外を推奨）
10	USB 切断ブザー再生回数	遮断機（USB アダプタ）が抜けた場合にブザー音（1 秒低音）が鳴りま

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

		す。このブザー音を断続的に何回再生するかを指定します。一般的には「無限」を指定してください。
11	コンファームブザー再生回数	確認が必要となった場合、ｺﾝﾌｧｰﾑ画面がポップアップし、あわせてブザー音（1 秒高音）が鳴ります。このブザー音を断続的に何回再生するかを指定します。監視モニターが手元にある場合などは、3 回程度でも OK です。
12	遮断機デバイス名	使用する OS により遮断機の認識文字列が異なります。この認識文字列は遮断機抜けチェックを行うものですので正しく設定してください。
13	市外局番	設置場所の市外局番を指定します。03、042 などがそれにあたります。
14	市内ダイヤル桁数	設置場所の市内ダイヤル桁数を指定します。東京都内において、03-5419-2567 に電話をかける際、54192567 とダイヤルすれば、電話がかかりますので、8 桁となります。
15	録音モード	回線の録音及びモニターを実施するかしないかを指定します。FAX 誤送信防止用途でありましたら、特にする必要はありません。主にｱﾅﾛｸﾞ回線モニター用途としてご活用いただく場合の機能です。
16	録音・モニターデバイスの設定	録音およびモニターは指定した１デバイスでのみ実施することができます。チャネル No とデバイス名を指定します。入力欄の下段には、現在の設定情報が表示されるようになっています。 ※デバイス No は論理的に決められていますので、ご注意ください。例えば、遮断機を 2 台、XP のパソコンに接続した場合、www.usbphone.com と www.usbphone.com(2)と認識されます。どちらがデバイス No０なのかは、一度設定していただき、録音モードを「する」と設定した上で、ﾒｲﾝ画面の「モニター」ボタンを押下してモニターを実行してみてください。音が聞こえてくれば、組み合わせが正しいことになります。 ※設定方法につきましては、録音・モニターの操作方法を確認してください。
17	録音・モニターデバイスの設定（更新ボタン）	録音・モニターデバイスの設定専用更新ボタンです。 このボタンを押下することで、現在設定されているデバイス名が更新され、入力欄の下段の表示が変わります。
18	録音ファイル保存先	録音を実行する場合は、保存先を指定します。指定した保存先の下に日別にフォルダが自動生成されます。
19	録音音量	録音時のボリュームを指定します。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

5.2.4　コンファーム画面

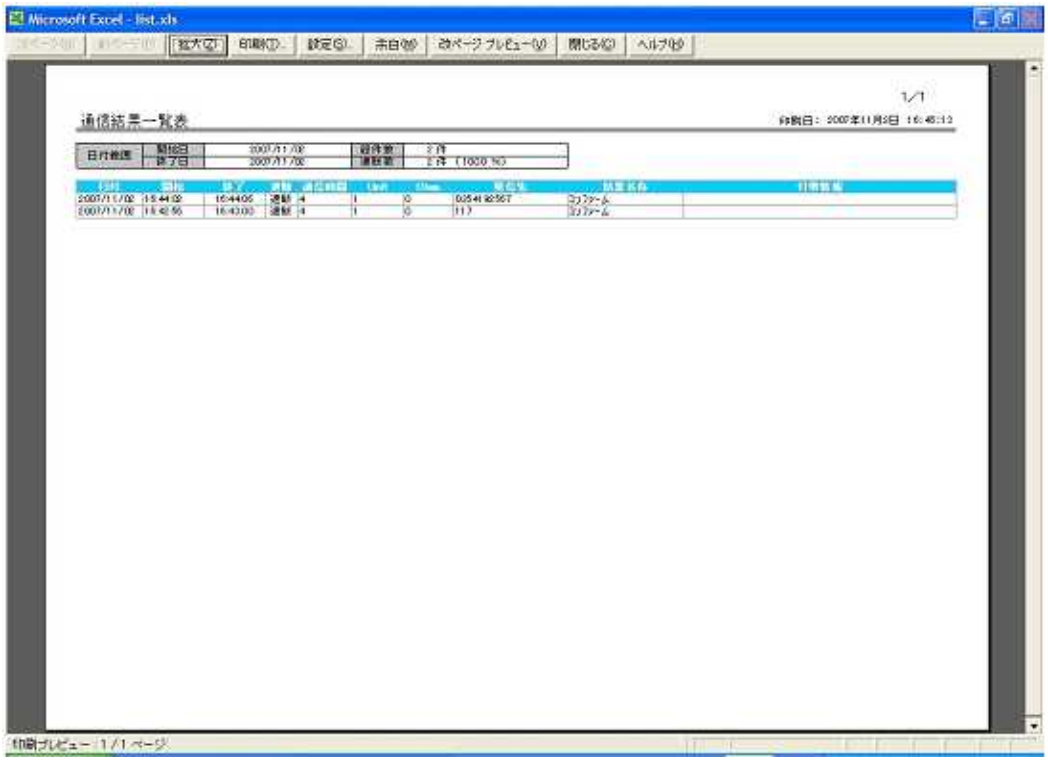


FAX は電話機にて、発信許可、拒否にも設定されておらず、ｺﾝﾌｧｰﾑﾓｰﾄﾞで動作している場合

№	項目名	説明
1	ｷｮｶ　ボタン	指定された電話番号を許可登録し、以降この電話番号をかけたときは、「許可」します。
2	ﾜﾝﾀｲﾑ　ボタン	指定された電話番号を許可登録し、以降この電話番号をかけたときは、一度だけ「許可」します。
3	ﾊｯｼﾝｷｮﾋ　ボタン	指定された電話番号を拒否登録し、以降この電話番号をかけたときは、「拒否」します。
4	削除ボタン	指定された電話番号をコンファーム画面より削除します。
5	閉じるボタン	コンファーム画面を閉じます。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

5.2.5　一覧表画面



※エクセルのプレビュー画面です。

№	項目名	説明
1	拡大ボタン	プレビューを拡大表示します。
2	印刷ボタン	プレビューされている表を印刷します。
3	設定ボタン	印刷設定を行います。
4	余白ボタン	余白指定を行います。
5	改ページプレビューボタン	エクセルの改ページプレビューモードになりますが、プレビュー画面が閉じてしまいます。
6	閉じるボタン	コンファーム画面を閉じます。
7	ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

5.2.6 ブザー確認画面

№	項目名	説明
1	ブザー指定リストボックス	「コンファーム時」「遮断機切断時」を指定することができます。
2	ﾌﾞｻﾞｰ鳴動ボタン	実際にﾌﾞｻﾞｰを鳴らします。再生先は、初期設定画面の［ﾌﾞｻﾞｰ再生先］となります。 ※スピーカーボリュームにご注意ください。
3	閉じるボタン	ﾌﾞｻﾞｰ確認画面を閉じます。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

5.2.7 ｷｮｶ登録画面

№	項目名	説明
1	追加ボタン	指定した［発信先］［付帯情報］［ﾜﾝﾀｲﾑ］を許可登録します。
2	変更ボタン	指定した［発信先］［付帯情報］［ﾜﾝﾀｲﾑ］で許可登録内容を変更します。
3	削除ボタン	指定した［発信先］［付帯情報］［ﾜﾝﾀｲﾑ］を許可登録から削除します。
4	インポートボタン	ｷｮｶ登録を一件ずつ行うのではなく、事前に用意した CSV をインポートします。UNIT#1 でのみ有効な機能です。
5	エクスポートボタン	現在のｷｮｶ登録情報を CSV にエクスポートします。UNIT#1 でのみ有効な機能です。
6	閉じるボタン	ｷｮｶ登録画面を閉じます。
7	発信先	操作したい発信先を指定します。
8	ﾜﾝﾀｲﾑ	0 を登録すると、常に許可となります。1 を指定すると、ﾜﾝﾀｲﾑ許可となり、一度許可と判定されるとｷｮｶ登録より削除されます。
9	付帯情報	監視モニターのメイン画面にて表示されます。許可理由やメモなどを指定できます。(半角 50Byte まで)

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

10	Chan	ﾜﾝﾀｲﾑ許可時に参照されるチャネル番号が表示されます。 通常、ﾜﾝﾀｲﾑ許可はｺﾝﾌｧｰﾑ画面から指定しますので、あまり意識しませんが、特別に許可画面からﾜﾝﾀｲﾑ登録を行う場合は、Chan は０からの指定となりますのでご注意ください。
11	Unit	ﾜﾝﾀｲﾑ許可時に参照される UNIT 番号が表示されます。 通常、ﾜﾝﾀｲﾑ許可はｺﾝﾌｧｰﾑ画面から指定しますので、あまり意識しませんが、特別に許可画面からﾜﾝﾀｲﾑ登録を行う場合は、UNIT は１からの指定となりますのでご注意ください。
12	一覧表	現在許可されている電話番号の一覧表を表示します。表示件数は、初期設定の［画面表示件数］により制限されます。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

5.2.8 ﾊｯｼﾝｷｮﾋ登録画面

№	項目名	説明
1	追加ボタン	指定した［発信先］［付帯情報］を拒否登録します。
2	変更ボタン	指定した［発信先］［付帯情報］で拒否登録内容を変更します。
3	削除ボタン	指定した［発信先］［付帯情報］を拒否登録から削除します。
4	インポートボタン	ﾊｯｼﾝｷｮﾋ登録を一件ずつ行うのではなく、事前に用意した CSV をインポートします。UNIT#1 でのみ有効な機能です。
5	エクスポートボタン	現在のﾊｯｼﾝｷｮﾋ登録情報を CSV にエクスポートします。UNIT#1 でのみ有効な機能です。
6	閉じるボタン	ﾊｯｼﾝｷｮﾋ登録画面を閉じます。
7	発信先	操作したい発信先を指定します。
8	付帯情報	監視モニターのメイン画面にて表示されます。許可理由やメモなどを指定できます。(半角 50Byte まで)
9	一覧表	現在拒否されている電話番号の一覧表を表示します。表示件数は、初期設定の［画面表示件数］により制限されます。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

5.2.9 電話帳登録画面

№	項目名	説明
1	追加ボタン	指定した［発信先］［発信数］を電話帳登録します。
2	変更ボタン	指定した［発信先］［発信数］で電話帳登録内容を変更します。
3	削除ボタン	指定した［発信先］［発信数］を電話帳登録から削除します。
4	インポートボタン	電話帳登録を一件ずつ行うのではなく、事前に用意した CSV をインポートします。UNIT#1 でのみ有効な機能です。
5	エクスポートボタン	現在の電話帳登録情報を CSV にエクスポートします。UNIT#1 でのみ有効な機能です。
6	閉じるボタン	電話帳登録画面を閉じます。
7	発信先	登録したい発信先を指定します。
8	発信数	発信先への発信回数を指定します。通常は 0 を指定します。
9	名称	発信先の名称を指定します（半角 50Byte まで）
10	一覧表	現在登録されている電話番号の一覧表を表示します。表示件数は、初期設定の［画面表示件数］により制限されます。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

5.2.10 監視モニターユーザー登録画面

モニター画面にログインするユーザーを登録できます。

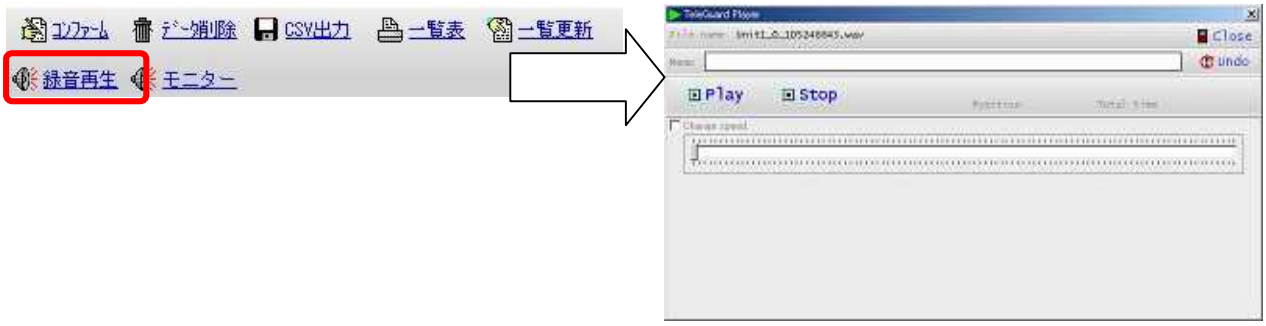
№	項目名	説明
1	追加ボタン	指定した［ID］［PWD］［権限］をユーザー登録します。
2	変更ボタン	指定した［ID］［PWD］［権限］でユーザー登録内容を変更します。
3	削除ボタン	指定した［ID］［PWD］［権限］をユーザー登録から削除します。
6	閉じるボタン	監視モニターユーザー登録画面を閉じます。
7	ID	登録したい ID を指定します。
8	PWD	パスワードを指定します。
9	権限	0：参照のみ、1:管理者を指定します。0 の場合は、機能制限がかかります。
10	一覧表	現在登録されているユーザーの一覧表を表示します。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

5.2.11 録音再生画面

録音を実施した場合に録音ファイルを再生することができます。
通常は、ﾒｲﾝ画面から録音再生ボタンを押下し、画面表示した段階で自動的に再生が始まります。、
録音を実行した遮断機上でのみ再生することができます。録音されていない場合は、ファイルが見つかりませんなどのメッセージが表示されます。

※ネットワークフォルダを指定して録音を行い、モニター端末で共有できるフォルダであれば、再生可能です。

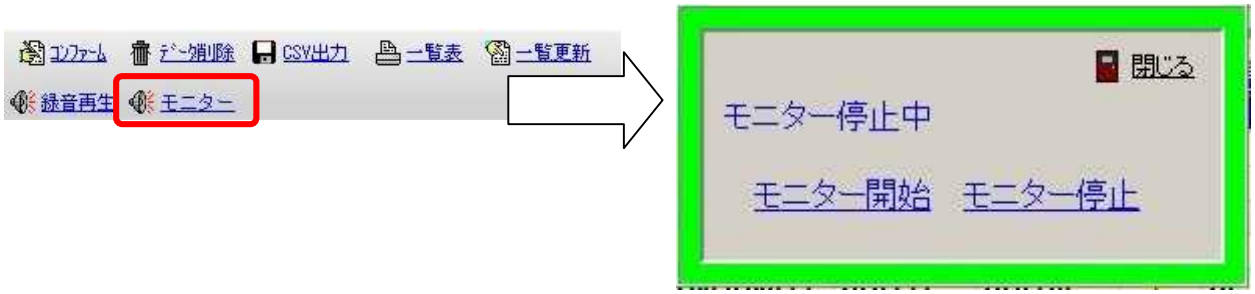


№	項目名	説明
1	Memo	付帯情報にコメントを記録することができます。
2	Play ボタン	音声を再生します。
3	Stop ボタン	音声を停止します。
4	Close ボタン	再生画面を閉じます。
5	ChangeSpeed チェックボックス	再生スピードを 2 倍にします。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

5.2.12 モニター画面

受話器を上げている状態の回線上の音をリアルタイムに聞き出すことが可能です。
モニターは設定画面にて指定したデバイスでのみ実行することができます。



№	項目名	説明
1	モニター開始ボタン	回線上の音をモニターします。音が流れてこない場合は、 (1)受話器があがっていない。 (2)再生デバイスが正しくない。 (3)ボリュームが小さい (4)録音・モニターデバイスの設定に誤りがある が考えられます。
2	モニター停止ボタン	モニターを停止します。
3	閉じるボタン	モニター再生ﾊﾟﾈﾙを閉じます。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

5.3 アイコンの説明

アイコン	名称	説明
	許可	発信先（ダイヤル先）を許可したことを表します。発信先（ダイヤル先）は発信ｷｮｶ登録されております。
	コンファーム	発信先（ダイヤル先）を検出したが、発信ｷｮｶ登録もｷｮﾋ登録もされておらず回線を遮断したことを表します。 TeleGuard の動作モードに「Confirm（ｺﾝﾌｧｰﾑ）」が指定されている場合この状態となります。 この場合は、監視モニター（Monitor）アプリケーション上には「ｺﾝﾌｧｰﾑ」画面が警告音とともに表示され、許可するのか拒否するのか、或いは無視するのかの指示を待ちます。
	未処理	発信先（ダイヤル先）として認識されなかった場合、または着信の場合はこのアイコンが表示されます。 発信先（ダイヤル先）として認識されないケースとは、例えば 035419 までダイヤルして途中で止めたなどの場合です。
	ワンタイム許可	発信先（ダイヤル先）をﾜﾝﾀｲﾑｷｮｶしたことを表します。ﾜﾝﾀｲﾑｷｮｶは、ｷｮｶ設定画面の［ﾜﾝﾀｲﾑ］欄に「1」を設定するか、ｺﾝﾌｧｰﾑ画面にて「ﾜﾝﾀｲﾑ」指示を行うかのどちらかで指定できます。
	発信回数オーバー	発信先（ダイヤル先）への発信回数がオーバーし、回線を遮断したことを表します。発信回数は、TeleGuard.ini の「MAXDIAL」レコードにて設定可能です。 （初期値 0：回数ｵｰﾊﾞｰ制限なし）
	パススルー	発信（ダイヤル）を検出したが、発信ｷｮｶ登録もｷｮﾋ登録もされておらず、TeleGuard の動作モードに「PassThrough（ﾊﾟｽｽﾙｰ）」が指定されている場合この状態となります。この場合は、発信先（ダイヤル先）を遮断しません。
	拒否	発信先（ダイヤル先）を拒否し回線を遮断したことを表します。発信先（ダイヤル先）は発信ｷｮﾋ登録されております。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

5.4　使用用途別設定例

5.4.1　FAX の誤発信防止

FAX 送信時に、不意な場所への FAX 送信による情報漏洩トラブルを回避するため、FAX 送信時に TeleGuard によりダイヤル分析し、監視モニター上で「ｺﾝﾌｧｰﾑ」とよばれる確認作業を行うことで、FAX 送信が許可されるよう設定します。この場合、一回目の FAX 送信は遮断されますので、FAX 送信は中断します。この中断の間に「ｺﾝﾌｧｰﾑ」による確認作業を行っていただくことで、FAX のリトライによって再度 FAX 送信が開始されます。**FAX のリトライ機能は解除しないようにご注意ください。**

設定内容	設定値	説明
動作モード	ｺﾝﾌｧｰﾑ	ダイヤル先は必ず監視モニターで確認してから送信するようにします。 指示としては「ﾜﾝﾀｲﾑｷｮｶ」をすることをおすすめいたします。
ｷｮｶ設定	電話番号	定期的に送信する必要がある場合や、FAX 機に短縮ダイヤルとして登録されている場合は、「ｺﾝﾌｧｰﾑ」の必要性がありませんので、ｷｮｶ設定されることをおすすめいたします。
ﾊｯｼﾝｷｮﾋ設定	―	特に何も指定しません。
電話帳	―	特に何も指定しません。

5.4.2　テレマーケティングでの発信回数制限

テレマーケティングやテレプロモーションなど、作業効率の問題や効果測定の基準値として 1 お客様に対しての発信回数が規定されるケースがあります。

設定内容	設定値	説明
動作モード	ﾊﾟｽｽﾙｰ	特に発信先の規制を行わない場合はﾊﾟｽｽﾙｰを設定します。
ｷｮｶ設定	―	特に何も指定しません。
ﾊｯｼﾝｷｮﾋ設定	―	特に何も指定しません。
電話帳	―	特に何も指定しませんが、既に別なシステムで電話をかけた実績があるなどの場合は、事前に電話番号とその回数とともに電話帳に登録しておくことをおすすめいたします。
初期設定	発信制限回数	監視モニターの初期設定画面にて、発信回数規制を設定してください。「1」を設定した場合は、発信回数 1 回までが許容されます。（話中・不在の場合も 1 回と数えます） 設定変更した場合は、必ず制御ソフトの再起動を行ってください。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

5.4.3　FAX 送付拒否や電話拒否のお客様へのトラブル防止

FAX 送付拒否や電話拒否のお客様へのダイヤルは重大なトラブルの元となります。
通常ダイヤルは普通に電話がかかり、特別なダイヤル先のみガードしたい場合は以下のように設定します。

設定内容	設定値	説明
動作モード	ﾊﾟｽｽﾙｰ	指定したダイヤル先のみガードしたい為、登録されていない電話番号は通常どおり電話がかかるようにします。
ｷｮｶ設定	―	特に何も指定しません。
ﾊｯｼﾝｷｮﾋ設定	ダイヤル拒否のお客様の電話番号	ダイヤル拒否のお客様の電話番号を登録してください。大量にある場合は CSV ファイルよりインポートすることも可能です。
電話帳	―	特に何も指定しません。

5.4.4　決まったダイヤル先にしか FAX や電話をかけたくない

決まったダイヤル先にしか FAX や電話をかけたくない場合は、FAX や電話機の短縮ダイヤルが有効な手段ですが、件数に限りがあります。どうしても手動ダイヤルを伴ってしまう場合は間違い電話を防止するため、以下の設定が有効です。

設定内容	設定値	説明
動作モード	ｺﾝﾌｧｰﾑ	ダイヤル先は必ず監視モニターで確認してから送信するようにします。必要に応じて、「ｷｮｶ」「ﾊｯｼﾝｷｮﾋ」などを指示してください。
ｷｮｶ設定	電話番号	制限したダイヤル先を事前登録します。
ﾊｯｼﾝｷｮﾋ設定	―	特に何も指定しません。
電話帳	―	特に何も指定しません。

5.4.5　電話は普通通りに使用し達成率の管理などダイヤル履歴を取りたい

普通どおりに電話がかけられればよいが、「どこ」に「いつ」電話をかけたのか、また「何回」もしくは「何件」電話をかけたのかが履歴として記録されます。発信結果は一覧表で印刷するほか、CSV としてエクスポートすることもできます。

設定内容	設定値	説明
動作モード	ﾊﾟｽｽﾙｰ	特に発信先の規制を行わない場合はﾊﾟｽｽﾙｰを設定します。
ｷｮｶ設定	―	特に何も指定しません。
ﾊｯｼﾝｷｮﾋ設定	―	特に何も指定しません。
電話帳	―	特に何も指定しません。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

5.4.6 ｱﾅﾛｸﾞ回線モニターとしての使い方

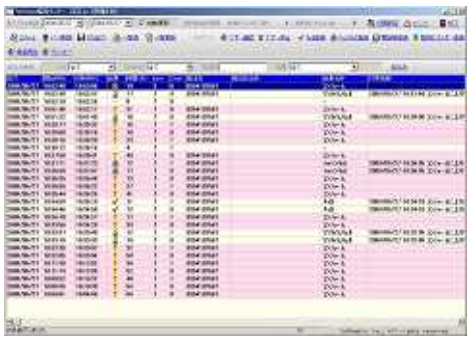
オートコールシステムやアウトバウンドシステムなどで何処に電話をかけたのか、どのような音が回線上流れているのかなどを調査・記録しておきたい場合に使用する設定例です。

設定内容	設定値	説明
動作モード	ﾊﾟｽｽﾙｰ	特に発信先の規制を行わない場合はﾊﾟｽｽﾙｰを設定します。
ｷｮｶ設定	―	特に何も指定しません。
ﾊｯｼﾝｷｮﾋ設定	―	特に何も指定しません。
電話帳	―	特に何も指定しません。
録音ﾓｰﾄﾞ	する	特に録音が必要ない場合でも、モニターを実行する場合は、録音ﾓｰﾄﾞを「する」に設定してください。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

5.5　ｺﾝﾌｧｰﾑ時の操作について

5.5.1　ｺﾝﾌｧｰﾑ操作



（1）
ｺﾝﾌｧｰﾑﾓｰﾄﾞで実施している状態で、電話機もしくはFAXから電話をかけます。
監視モニターにはログインしてﾒｲﾝ画面を表示して置いてください。

（2）
遮断機にてカチッと音がした後、警告音とともに、ｺﾝﾌｧｰﾑ画面が表示されます。
電話番号を確認し、以降継続的にこの電話番号への発信を許可する場合は「ｷｮｶ」、継続的にこの電話番号への発信を拒否する場合は「ｷｮﾋ」、次回の一回だけ許可する場合は「ﾜﾝﾀｲﾑ」、ｺﾝﾌｧｰﾑ要求を削除する場合は、「削除」を押下してください。

操作を実行し、さらに別なｺﾝﾌｧｰﾑ要求が無ければ、自動的に画面が消えます。

名前を表示したい場合は、電話帳画面に自動登録されていますので、名称を記入することで、次回より名称が表示されます。

ｷｮｶを行った場合：ｷｮｶ登録され、ｷｮｶ画面にて参照することができます。
ｷｮﾋを行った場合：ｷｮﾋ登録され、ｷｮﾋ画面にて参照することができます。
ﾜﾝﾀｲﾑを行った場合：ｷｮｶ登録されますが、制限回数が1回のｷｮｶとなります。ｷｮｶ画面にて参照することができます。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

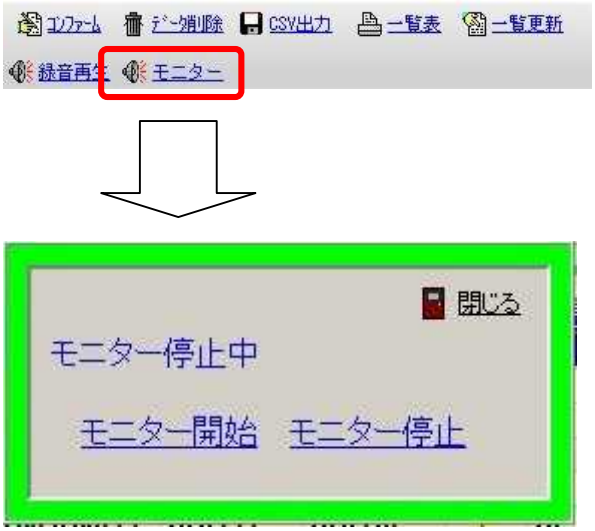
5.6　録音・モニターの設定について

5.6.1　録音・モニター設定と操作

（1）
設定画面にて、録音ﾓｰﾄﾞ「する」を指定します。
録音・モニターデバイスの設定はとりあえず初期値のままとしておきます。

録音の保存先も予め指定して置いてください。

設定を保存します。



（2）
ﾒｲﾝ画面のモニターボタンを押下し、モニター操作ﾊﾟﾈﾙを表示します。
ここでモニター開始ボタンを押下します。

そのまま受話器を取っていただき、回線上の音がパソコンから再生されていれば設定は問題ありません。

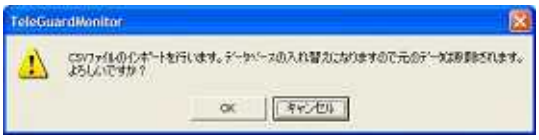
［HINT］
録音・モニターを行いたい電話回線の受話器を上げ下げしていただき、ﾒｲﾝ画面上に記録された情報の Chan 項目に表示された数字が、対象のデバイス No となります。このデバイス No を設定画面にて指定していただきます。
問題がある場合には、以下をご確認ください。
(1)受話器があがっていない。
(2)再生デバイスが正しくない。
(3)ボリュームが小さい
(4)録音・モニターデバイスの設定に誤りがある
※遮断機を二台つけている場合は、デバイスの名称を変更してみてください。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

5.7　データのインポート・エクスポート操作について

5.7.1　インポート操作

（1）
各画面にて［インポート］を押下します。



（2）
すでに登録されているデータは破棄されてしまいますので、確認して［OK］を押下します。

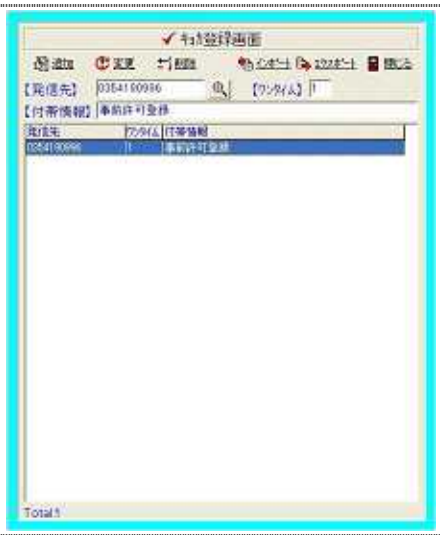
（3）
インポートしたいCSVファイルを選択します。登録する CSV によってフォーマットが異なりますので注意して選択してください。

（4）
登録するCSVのフォーマットが適切ではない場合、先のメッセージが表示されますので［OK］を押下し、CSV ファイルを確認して再度インポート操作からやり直してください。

（5）
インポートが正しく終了しますと、左記の画面が表示されますので、［OK］を押下します。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

5.7.2　エクスポート操作



（1）
各画面にて［エクスポート］を押下します。

（2）
エクスポートするデータを格納する CSV ファイルを選択します。新規で作成する場合は、［ファイル名］欄にファイル名を指定してください。

（3）
エクスポートが完了すると、左記の画面が表示されますので、［OK］を押下します。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

5.8　遮断機エラーの回復方法

（1）
監視モニターが遮断機の接続エラーを検出すると、左記の画面とともに、ブザーが鳴動します。

※［ブザー停止］ボタンによりブザーを停止することができます。

（2）
エラー画面に表示されている UNIT＃に接続された遮断機の接続をチェックし、当該 UNIT の PC を再起動してください。

5.9　監視モニターユーザーの権限について

0：参照のみ
参照機能のみ実行することができます。コンファームによる許可・拒否指定も行うことができません。

1：管理者
管理者権限はすべての機能を実行することができますが、インポートおよびエクスポートは UNIT#1 でのみ実施することができます。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

5.10 初期化ファイルの説明（TeleGuard.ini）

セクション	レコード	説明
[COMMON]	UNIT	制御 PC の UNIT 番号を指定します。
	MODE	制御モードを指定します。
	VALIDDAY	ログ保存日数を指定します。
	ZERODIAL	外線捕捉ダイヤル設定
	MAXDIAL	発信数規制数
	MAXDISP	監視モニター画面表示件数
	REACTIVATION	遮断機制御ソフトの自動再起動時間
	PlayCountDiscon	遮断機切断時のﾌﾞｻﾞｰ回数を指定します。
	PlayCountConf	ｺﾝﾌｧｰﾑ時のﾌﾞｻﾞｰ回数を指定します。
	DEVICE	遮断機名称 ＜WinXP＞ USB phone www.usbphone.com ＜Win2K＞ USB オーディオ デバイス
[ZEROSTR]	COUNT	外線捕捉ダイヤルのリスト数を指定します。
	ZEROSTR1	実際の外線捕捉ダイヤルを指定します。
[DATABASE]	DSN	データベースの接続 DSN を指定します。
	UID	データベースに接続するための UID を指定します。
	PWD	データベースに接続するためのパスワードを s 否定します。
	RETRY	データベース接続リトライ数を指定します。
[MAINTENANCE]	SHOW	システムメンテナンス用

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

5.11 DN ファイルの説明（DN.tmp）

セクション	レコード	説明
[0]	Length	ダイヤルの先頭が「0」であった場合、電話番号と判断するための桁数を指定する。
[1]	Length	ダイヤルの先頭が「1」であった場合、電話番号と判断するための桁数を指定する。
[090]	Length	ダイヤルの先頭が「090」であった場合、電話番号と判断するための桁数を指定する。
[080]	Length	ダイヤルの先頭が「080」であった場合、電話番号と判断するための桁数を指定する。
[070]	Length	ダイヤルの先頭が「070」であった場合、電話番号と判断するための桁数を指定する。
[060]	Length	ダイヤルの先頭が「060」であった場合、電話番号と判断するための桁数を指定する。
[050]	Length	ダイヤルの先頭が「050」であった場合、電話番号と判断するための桁数を指定する。
[0990]	Length	ダイヤルの先頭が「0990」であった場合、電話番号と判断するための桁数を指定する。
[other]	Length=8	市内局番から電話をかける場合の桁数を表示します。
	PREFIX=03	市内局番から電話をかけた場合、本項目で設定した市外局番を付加します。
[IGNORE]	COUNT=7	電話番号として無視するダイヤルを指定します。
	PREFIX1=0033	電話番号の先頭に「0033」が指定された場合、無視します。
	PREFIX2=001	電話番号の先頭に「001」が指定された場合、無視します。
	PREFIX3=0041	電話番号の先頭に「0041」が指定された場合、無視します。
	PREFIX4=184	電話番号の先頭に「184」が指定された場合、無視します。
	PREFIX5=186	電話番号の先頭に「186」が指定された場合、無視します。
	PREFIX6=0034	電話番号の先頭に「0034」が指定された場合、無視します。
	PREFIX7=0077	電話番号の先頭に「0077」が指定された場合、無視します。

※本ファイルを編集した場合は、PC を再起動してください。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

5.12 インポート用 CSV ファイルフォーマット

5.12.1 許可設定用 CSV フォーマット

【フォーマット】

項目名の並び	発信先,ワンタイム,付帯情報
例	0354190996,1,事前許可登録 0354192567,0,拒否指定です。

【備考】

・全項目カンマ「,」で区切ります。項目中に「,」がある場合、正しくインポートできません。

5.12.2 拒否設定用 CSV フォーマット

【フォーマット】

項目名の並び	発信先,付帯情報
例	0354190996, 0354192567,お客様申告により拒否

【備考】

・全項目カンマ「,」で区切ります。項目中に「,」がある場合、正しくインポートできません。

5.12.3 電話帳設定用 CSV フォーマット

【フォーマット】

項目名の並び	発信先,名称,発信回数,最終発信日付,最終発信時刻,発信ﾕﾆｯﾄ,発信ﾁｬﾝﾈﾙ
例	117,時報,1,2007/11/02,16:42:56,1,0 0354192567,ソフトマティック㈱代表,1,2007/11/02,16:44:02,1,0

【備考】

・全項目カンマ「,」で区切ります。項目中に「,」がある場合、正しくインポートできません。

・日付、時刻は例の通りのフォーマットとしてください。

・最終発信日付、時刻、発信ﾕﾆｯﾄ、発信ﾁｬﾝﾈﾙは空のままではエラーとなりますので、日付、時刻にはインポートしようとする日付時刻、ﾕﾆｯﾄ、ﾁｬﾝﾈﾙには「0」をセットしておいてください。

COPYRIGHT(C) Softmatic,Inc. All Rights Reserved.

5.13　注意事項

1）初期インストールでは、常に遮断され一回で電話をかけることができません。設定が作業が行われている間は正しく電話をかけることができなくなりますので、十分にご注意ください。

2）緊急番号の 110、118、119 は拒否登録したとしても遮断しません。遮断するように設定することもできません。

3）ダイヤル Q2（0990）への発信は、「0990」とダイヤルしたタイミングでダイヤル確定します。（初期導入時は遮断されます。）これは DN ファイルにより、「0990」が 4 桁で電話番号として確定する設定を行っている為です。「0990」を有効としたい場合は、DN ファイルの［0990］に指定されている［Length］を「10」と設定することで、一般の電話番号と同様に扱うことができます。

4）市外局番付の「177」、例えば「03－177」などについては、ダイヤル確定桁数の判定が正しく行われませんので、ガードするよう設定することができません。どうしてもガードが必要な場合は開発元にお問合せいただければ、カスタマイズ（有償対応となります）にて対応させていただきます。

5）製品特性上、遮断機の遮断決定速度により、相手先へ瞬間的に着信音がなる場合があります。

【開発元】
ソフトマティック株式会社
〒105-0014　東京都港区芝 3－14－6
TEL:03-5419-2567　FAX:03-5419-0996
URL:http://www.softmatic.co.jp/
Mail:info@softmatic.co.jp

本マニュアルに掲載されているシステム名称および製品名称、サービス名称は一般にその開発元、提供元の商標、もしくは登録商標です。